

令和6年度

和泉市教育委員会の点検・評価報告書

(令和5年度事業対象)

令和6年10月

和泉市教育委員会

本報告書について

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に規定され、すべての教育委員会において毎年、点検・評価の実施及び議会への提出、公表が義務付けられているものです。

点検・評価にあたっては、学識経験者の知見も活用し、とりまとめを行っています。

また、本点検・評価は、教育大綱の策定を受け、教育委員会における施策を総合的かつ計画的に推進するために、取組活動を包括的に整理した「和泉市教育振興基本計画」の進行管理を兼ねており、その結果を次年度以降の施策の改善、推進につなげることとしています。

については、和泉市教育大綱、和泉市教育振興計画の目標を達成するために推進している事業を29事業に

分類し、その事業単位でとりまとめを行い、全体的な取組評価だけでなく、令和5年度における特に効果のあった内容や次年度への課題を整理しています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	点検・評価の流れ	・・・	5	10	我が町における子どもの育成	・・・	31
II	和泉市教育大綱	・・・	6	11	健康教育・体力向上	・・・	33
III	和泉市教育振興基本計画	・・・	6	12	食育及び学校給食	・・・	35
IV	点検・評価シート			13	学校保健の充実	・・・	37
	1 公立保育所・公立幼稚園の運営	・・・	11	14	教材の充実・管理経費の適正化	・・・	39
	2 公立保育所・公立幼稚園の施設維持管理	・・・	14	15	小中学校の施設維持管理	・・・	41
	3 民間園への支援と連携	・・・	16	16	生涯学習環境づくり	・・・	43
	4 学力向上	・・・	18	17	社会教育環境づくり	・・・	45
	5 英語教育・読書教育	・・・	21	18	スポーツ施設の運営	・・・	47
	6 教職員の資質向上	・・・	23	19	スポーツ施設の普及	・・・	49
	7 生徒指導・教育相談体制の充実	・・・	25	20	文化芸術活動	・・・	51
	8 道德教育	・・・	27	21	文化財の調査研究・保護継承	・・・	53
	9 人権を尊重した教育	・・・	29	22	文化財の活用	・・・	55

2 3	美術館の運営	・・・	57
2 4	青少年の健全育成	・・・	59
2 5	放課後等の児童の健全育成	・・・	61
2 6	青少年センター活動	・・・	63
2 7	図書館の運営	・・・	65
2 8	子どもの読書推進	・・・	67
2 9	国際交流	・・・	69
V	参考資料		
1	教育委員会の活動状況	・・・	71
2	和泉市教育委員会評価委員会規則	・・・	78

I 点検・評価の流れ

●評価委員会委員

	氏名	職名	任期
委員長	平良 伸哉	大阪芸術大学 初等芸術教育学科 特任教授 (元校長)	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日
委員	杉田 菜穂	大阪公立大学 経済学部教授	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日
委員	川口 厚	桃山学院大学 経済学部教授	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日

●点検・評価報告書の作成

各所管部局において、令和5年度に取り組んだ事業について、「和泉市教育大綱」、「和泉市教育振興基本計画」に掲げる目標等を踏まえた全体評価をはじめとして、特に効果のあった内容、今後の課題等の自己評価を実施

●第1回評価委員会【令和6年5月9日（木）】

対象部局 : 教育・こども部

●第2回評価委員会【令和6年5月16日（木）】

対象部局 : 生涯学習部

各委員から評価内容の確認、評価の視点等について、意見を聴取

●第3回評価委員会【令和6年7月4日（木）】

対象部局 : 教育・こども部、生涯学習部

第1回、第2回評価委員会での意見等を踏まえた修正内容の確認等を実施

●令和6年教育委員会第9回定例会【令和6年9月19日（木）】

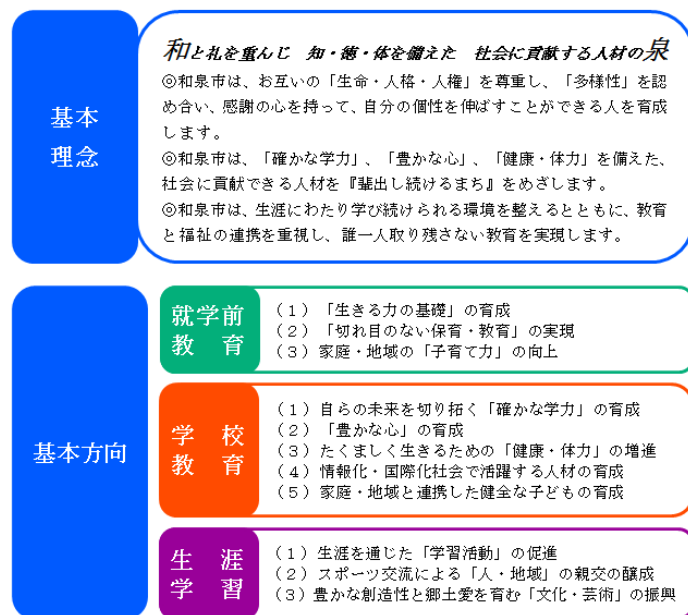
議会への提出、公表する案について報告

Ⅱ 和泉市教育大綱

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、平成27年11月に「和泉市教育大綱」を定め、令和4年3月に改訂しました。

この「和泉市教育大綱」は、和泉市における教育、学術及び文化の振興を図るための基本理念と基本方向を示すもので、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において協議し、定めたものです。

〈和泉市教育大綱の体系〉



Ⅲ 和泉市教育振興基本計画

和泉市教育振興基本計画は、「和泉市教育大綱」を受け、教育委員会における施策を総合的かつ計画的に推進するよう、平成28年3月に策定し、令和4年3月に改訂しました。

本計画の構成は、和泉市教育大綱に基づき、「就学前教育」、「学校教育」、「生涯学習」で構成することとし、各項目の目標・取組方針を整理しています。

なお、ここで整理した目標の実現をめざして、29項目の取組事業を点検・評価報告書で進行管理を行うこととしています。

1. 就学前教育

目標	取組方針	取組項目番号
(1)「生きる力の基礎」の育成		
学習の芽生えを育む	健やかな成長を促すためのさまざまな活動を通して好奇心や探究心を養います	1
社会生活における望ましい習慣や態度を養う	発達段階に即した指導を行います	1
人と関わる力を養うとともに、身近な人への愛情・信頼感を深める	集団生活の中で、友だちや先生との交流を行います	1
(2)「切れ目のない保育・教育」の実現		
幼稚園・保育所・認定こども園と小学校相互の保育・教育内容の理解を深める	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流・連携を図ります	1
安心して小学校に就学する	就学前教育を終了した子どもたちが、安心して小学校に就学できる環境を整えます	1
支援体制を確保する	障がいや発達状況に配慮した支援の充実を図ります	1

目標	取組方針	取組項目番号
(3) 家庭・地域の「子育て力」の向上		
子育ての孤立化や不安の解消	子育て家庭のサポート体制の充実を図ります	1
学習機会の提供	発達段階に応じた家庭教育について学習する機会を提供します	1
子育て環境の整備	家庭、地域等との連携により、社会総がかりで育てる環境を整えます	1
(4) 需要と供給バランスのとれた公立園及び民間園の提供		
待機児童の解消	公立園と民間園が連携し、待機児童の解消に取り組めます	1・3
公立園の適正配置	需要と供給の状況や公立園の老朽化などを踏まえたファシリティマネジメントに取り組めます	2
(5) 健全な育成を支援するための公立園の環境充実		
安全で過ごしやすい施設環境の提供	園児がいいきと過ごすことができる環境づくりや、老朽化する施設、備品等の計画的な更新に取り組めます	2

目標	取組方針	取組項目番号
(6) 民間園への支援・連携の充実		
民間園運営等に対する補助及び各種情報の共有化	民間園が実施する幼児教育・保育等について、施設型給付・補助金等の運営支援を行うとともに、就学前教育を取り巻く各種情報の共有に取り組めます	3

2. 学校教育

目標	取組方針	取組項目番号
(1) 自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成		
豊かな知識や技能を身につけた児童生徒を育む	基礎学力の確かな定着を図るとともに、社会の変化に対応した教育に取り組めます	4
主体的に判断・行動し、問題解決に導くことができる資質と能力を備えた児童生徒を育む	「思考力・判断力・表現力」を身につけることができる教育に取り組めます	4
	知的活動の基盤となる国語能力を向上させる読書活動に積極的に取り組めます	5
児童生徒一人ひとりの学び意欲と個性をひきだす	教職員の資質と能力の向上を図ります	6
	「わかる授業づくり」を推進します	4
(2) 「豊かな心」の育成		
人間性豊かな児童生徒の育成を育む	道徳的価値を深めることができる環境づくり、授業づくりに取り組めます	8
	豊かな人権感覚をもって行動し、一人ひとりの価値観や性別・国籍・障がいなどの「多様性」を認め合うとともに、人を思いやり、一人ひとりの感性を大切にする児童生徒を育みます	9
規範意識と豊かな情操を培う	「いずみあいさつ運動」をはじめ、地域で子どもたちを温かく見守る人々との交流を促進します	10

目標	取組方針	取組項目番号
(2)「豊かな心」の育成		
だれもが安心して過ごせる学校づくりの推進	いじめ、暴力行為、不登校などの未然防止や早期発見、早期対応に向けて必要な措置を講じるとともに、児童生徒が抱える課題の多様化に対応できる体制の構築に取り組めます	7
(3)たくましく生きるための「健康・体力」の増進		
成長の基礎となる健康・体力を増進する	運動習慣の定着に向けた取り組みを推進します	11
	心身両面の健全な発達を育む取り組みを推進します	11
心身の健康を増進する	自校調理による安全で栄養バランスの良い学校給食を提供し、家庭・地域と連携した食育を推進するとともに、食への理解を深めます	12
	各種健康診断や学校内事故に対する対応体制の確保など授業を受けるための環境支援に取り組めます	13
(4)情報化・国際化社会で活躍する人材の育成		
郷土和泉を誇りに思い愛する心を育む	郷土の伝統と文化を正しく理解し、深めるための教育に取り組めます	8

目標	取組方針	取組項目番号
国際社会に貢献する人材を育む	世界の人々と協働するため、国際社会への理解や英語力とコミュニケーション能力を高める教育に取り組めます	5・9
	社会の情報化に対応した資質・能力を育む	4
(5)家庭・地域と連携した健全な子どもの育成		
自ら進んで家庭で学習する児童生徒を育む	家庭・地域と連携し、基本的な生活習慣や社会的マナーを身につける教育に取り組めます	10
地域とともに歩む学校づくりの推進	社会総がかりで子どもを育む環境を整えます	10
(6)教育環境の充実		
学びの意欲を向上させる学習環境の提供	児童生徒が授業を受けやすい学習環境・教職員が授業を行いやすい環境づくりに取り組めます	14
安全・安心で快適な学校環境の提供	学校生活が快適に過ごせるような環境整備や少子化傾向・施設の老朽化を勘案したファシリティマネジメントに取り組めます	15

3. 生涯学習

目標	取組方針	取組項目番号
(1)生涯を通じた「学習活動」の促進		
一人ひとりが、生涯にわたり生きがいをもって豊かな人生を歩む	必要なときに必要な学びを提供できる環境整備に努めます	16
学習の成果を生かして活躍することができる場の提供と、地域に貢献する人材の育成、さまざまな交流やコミュニティの創出	学習の成果をいかして活動できる場の提供に取り組めます	16
	多様化する時代に即した地域社会、コミュニティの形成がなされる環境づくりに取り組めます	17
(2)スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成		
誰もが身近な場所でスポーツに親しみ、生きがいや健康を育む	スポーツを行う環境を整えます	18
スポーツを通じて地域の仲間たちと親交を深める	スポーツ活動の仕組みづくりに取り組めます	19
(3)豊かな創造性と郷土愛を育む「文化・芸術」の振興		
市民生活を心豊かで、潤いあるものとする	市民の創造性豊かな文化・芸術活動を支援します	20
地域の歴史資源や文化資源の保全に努めるとともに、これら資源に触れ合う機会を創出し、市民の誇りと郷土愛を育む	文化財の調査研究・保護継承に取り組めます	21
	史跡公園や歴史館など歴史学習の場の提供・活用に取り組めます	22
	久保惣記念美術館の施設や所蔵品を活かし美術に触れ合う機会・活動の場の創出に取り組めます	23

目標	取組方針	取組項目番号
(4)将来を担う青少年の育成		
健やかな青少年の育成	社会環境が及ぼす青少年への影響配慮や地域による見守りなどに取り組めます	24
	安全・安心して過ごせる児童の放課後活動の場の提供や次世代育成の観点による放課後活動対策に取り組めます	25
	子ども同士の交流ができる活動の場の提供に取り組めます	26
(5)生涯における読書振興		
生涯を通じた学習の一翼を担う読書の振興	図書の提供だけでなく調査・探究を手助けする情報拠点として、図書館の管理・運営に取り組めます	27
	子どもたちが読書を通じ生きる力を育めるよう、子どもの頃から読書に親しめる環境づくりに取り組めます	28
(6)国際交流の推進		
多様な価値観を学び認め合う国際交流の推進	国籍や文化の違いを超えて、互いを尊重し、ともに活躍できるグローバル人材育成のため、国際交流の推進に取り組めます	29

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	1	事業名	公立保育所・公立幼稚園の運営	担当課	教育・こども部こども未来室幼保育成担当、 学校園管理室保健給食担当、学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	----------------	-----	--

予算額	687	百万円	決算額	563	百万円	※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載
-----	-----	-----	-----	-----	-----	--

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
「生きる力の基礎」の育成	学習の芽生えを育む	健やかな成長を促すためのさまざまな活動を通して、好奇心や探求心を養います	①絵本の読み聞かせなどの情操教育 ②自然に親しむ園外活動などの体験学習 ③絵画や制作などの造形活動
	社会生活における望ましい習慣や態度を養う	発達段階に即した指導を行います	④災害避難訓練・消火訓練・不審者対処避難訓練 ⑤手洗い、歯磨き指導
	人と関わる力を養うとともに、身近な人への愛情・信頼感を深める	集団生活の中で友だちや先生との交流を行います	⑥国際理解教育の推進

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
「切れ目のない保育・教育」の実現	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校相互の保育・教育内容の理解を深める	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流・連携を図ります	⑦保育士・幼稚園教諭小学校教諭の合同研修並びに架け橋期プログラムの研究
	安心して小学校に就学する	就学前教育を終了した子どもたちが、安心して小学校に就学できる環境を整えます	⑧小学校授業見学や交流(対面・WEB活用) ⑨他園(小学校区内)との交流
	支援体制を確保する	障がいや発達状況に配慮した支援の充実を図ります	⑩巡回相談を行い助言、加配職員の配置

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
家庭・地域の「子育て力」の向上	子育ての孤立化や不安の解消	子育て家庭のサポート体制の充実を図ります	⑪育児教室・園庭開放の実施(在宅児)
	学習機会の提供	発達段階に応じた家庭環境について学習する機会を提供します	⑫子育て支援室等関係機関と連携し学習会等の案内
	子育て環境の整備	家庭、地域等との連携により、社会総がかりで育てる環境を育てます	⑬関係機関と連携し、子育てに関する情報提供

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
需要と供給のバランスのとれた公立園及び民間園の提供	待機児童の解消	公立園と民間園が連携し、待機児童の解消に取り組みます	⑭任期付職員・会計年度職員の採用

●令和4年度の課題

・新型コロナウイルス感染症の影響で小学校との交流行事の実施が少なかった。今後は感染対策を講じながら交流方法を検討し交流の継続を図っていく。

●令和5年度の事業評価

「生きる力の基礎」の育成	①②③職員による日々の絵本の読み聞かせや親子絵本貸し出し、地域人材活用による読み聞かせ等を行い絵本に十分親しんだ。また、園外活動や音楽活動、造形活動等の経験を通して好奇心や探究心を養うことができた。 ④⑤災害避難訓練・不審者対処避難訓練を毎月行った。また、手洗い・うがい、歯磨き指導等についても日々の保育の中で経験を積み重ねたり歌や視覚教材を活用したりしながら行い、基本的生活習慣の確立に繋がった。 ⑥ALT（外国語指導助手）や地域人材を活用し、他国の言葉や遊びに触れ、人と関わる力の育成に繋がった。
「切れ目のない保育・教育」の実現	⑦⑧⑨架け橋期のカリキュラムをテーマとした保幼小合同研修を実施した。小学校教諭が園見学をしたり園職員が授業参観をしたりする事で相互理解が深まった。新型コロナウイルス感染症が5類になり学校・園の相互交流や他園との交流も増え、園児は、小学校就学に向けて安心感をもつことができ、期待も膨らんだと思われる。 ⑩心理士と関係機関で公立・民間36園の巡回相談（前期・後期）を行い、子どもの行動観察・助言をし、必要に応じて加配保育士を配置することで特別支援児保育が充実した。5歳児に関しては指導主事や就学先の教諭も参加し支援方法の共有ができた。
家庭・地域の「子育て力」の向上	⑪⑫⑬在宅児対象に毎月1～2回の園庭開放・育児教室を実施する中で、遊びの提供や育児に関する相談に応じたり、関係機関と連携して発達に関する学習会や子育て広場などの案内をしたり子育て家庭のサポートが出来た。また、在園児家庭に対しては登降園時等、日常的に声をかけて子どもの姿を伝えたり相談に応じたり情報提供をしたりするなど子育て家庭のサポートができた。
需要と供給のバランスのとれた公立園及び民間園の提供	⑭広報・ホームページやハローワーク、養成校への就職案内等の送付、様々な勤務形態の募集など保育士確保に努めたが、会計年度任用職員の応募が少なく雇用が思うように出来なかった。任期付職員については、2回募集を行い、5名の採用となった。（1回目（12月）：5名募集に対して7名応募、5名採用 2回目（3月）：数名募集に対して3名応募、1名辞退、採用なし）

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	1	事業名	公立保育所・公立幼稚園の運営	担当課	教育・こども部こども未来室幼保育成担当、 学校園管理室保健給食担当、学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	----------------	-----	--

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
職員研修(保幼小連携・主体的な保育・支援児保育等)参加者延べ人数(目標値:539人) (令和4年度参加者数より、民間園(25園)各1人参加者を増加させる)	514 (95.4%)	539 (100.0%)	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

⑦⑧⑨架け橋プログラムに関する研修や学校・園相互の見学、交流等を通して相互理解が進んできているが、日程調整が難しい等の理由により、校区により取組みの度合いに差がある。学校教育室と連携し、園・学校に参観等の案内を行い、また、市内の実践事例を紹介し意見交換の場を設けることで情報提供に努め保幼小接続を更に進める。

⑭会計年度任用職員の雇用が思うようにできていない。短時間等の勤務形態を増やして募集をしているが、応募者側のニーズを考慮しながら更に多様な勤務形態の募集を検討する必要がある。

※予算額と決算額の差異(124百万円)の要因は、会計年度任用職員(保育士)について、114人の雇用を見込んでいたが、実際の雇用は100人に止まったこと(差異52百万円)と保育園給食の賄材料費について、園児1,116人を予算計上していたが、実際の園児数は890人となったことである。

●評価委員からの主な意見

令和6年度実施の職員採用試験の前倒しのように、引き続き人材確保に取組まれない。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	2	事業名	公立保育所・公立幼稚園の施設維持管理	担当課	教育・こども部こども未来室幼保運営担当、 学校園管理室教育施設担当
--------	---	-----	--------------------	-----	--------------------------------------

予算額	185	百万円	決算額	137	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
需要と供給バランスのとれた公立園及び民間園の提供	公立園の適正配置	需要と供給の状況や公立園の老朽化などを踏まえたファシリティマネジメントに取り組みます	①公立保育所・公立幼稚園のあり方に基づく整備方針に沿って、計画的に整備 ②令和8年度の芦部保育園民営化に向け、医療的ケア機能を備えた民間保育施設の誘致をめざし、運営事業者選考委員会を開催し、運営法人を決定 ③令和9年度の公立認定こども園(教育センター跡地)の開設に向けて、基本計画を策定

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
健全な育成を支援するための公立園の環境充実	安全で過ごしやすい施設環境の提供	園児がいきいきと過ごすことができる環境づくりや、老朽化する施設、備品等の計画的な更新に取り組みます	④各保育所、各幼稚園から購入希望を聴取し、現場の意見・要望を反映した物品を計画的に調達 ⑤旧伯太幼稚園の園舎除却工事を行い、処分に向けた準備

●令和4年度の課題

・消防本部の移転や教育センター等の除却の進捗状況について関係部署と情報共有し、公立認定こども園の整備スケジュールを確認していく。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

需要と供給バランスのとれた公立園及び民間園の提供	①②事業者選定委員会を3回実施し、運営事業者を決定した。 ③令和9年度の教育センター跡地での公立認定こども園の開設に向けて、令和6年度からの基本設計・実施設計業務の基礎となる基本計画を作成することができた。
健全な育成を支援するための公立園の環境充実	④園現場の意見・要望を反映した物品の調達ができたと。 ⑤令和2年度末に廃園した旧伯太幼稚園の除却工事を行い、令和6年度の処分にに向けた準備をすることができた。

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
芦部保育園の民営化に伴う民間認定こども園の事業進捗率 (目標値 R8.4.1時点100%:R5事業者決定、R6整備補助、R7整備補助・引継ぎ保育) (※達成状況の指標はR5 33% R6 66% R7 100%と設定)	0 (—)	33 (100.0%)	S
教育センター跡地の公立認定こども園の事業進捗率 (目標値 R9.4.1時点100%:R5基本計画、R6基本・実施設計、R7設計・工事、R8工事) (※達成状況の指標はR5 25% R6 50% R7 75% R8 100%と設定)	0 (—)	25 (100.0%)	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

芦部保育園民営化及び公立認定こども園の開園について、業者や関係課との調整が多いため、消防本部の移転や教育センター等の除却の進捗状況について関係部署と情報共有し、整備スケジュールを確認していく。
--

●評価委員からの主な意見

物価や人件費の高騰など、様々なコストアップ要因に留意して対応されたい。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	3	事業名	民間園への支援と連携	担当課	教育・こども部 こども未来室幼保運営担当・幼保育成担当
--------	---	-----	------------	-----	--------------------------------

予算額	5,885	百万円	決算額	5,870	百万円
-----	-------	-----	-----	-------	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度主な取組内容(3項目以内)
需要と供給バランスのとれた公立園及び民間園の提供	待機児童の解消	公立園と民間園が連携し、待機児童の解消に取り組みます	①育休復帰・就労予定の保育士の子どもの優先入所 ②保育士就職支援補助金制度を実施(民間認定こども園等に保育士として1年以上、常勤で勤務することが条件) ③北西部地域にある「ひばり幼稚園」の認定こども園化に伴う整備を支援し、受入人数を増員

基本方向	目標	取組方針	令和5年度主な取組内容(3項目以内)
民間園への支援・連携の充実	民間園運営等に対する補助及び各種情報の共有化	民間園が実施する幼児教育・保育等について、施設型給付・補助金等の運営支援を行うとともに、就学前教育を取り巻く各種情報の共有に取り組みます	④施設型給付や各種補助金交付 ⑤市主催等の研修を民間園へも周知し保育・教育の質を高める機会を共有 ⑥さいわいこども園、和泉チャイルド幼稚園の施設改修を補助

●令和4年度の課題

・市中部地域で16人の待機児童が発生している。みなまつ保育園分園による効果を確認するとともに、令和4年度の待機児童及び保留児童について追跡調査を行うことにより、保育ニーズの必要性を見極め、対策の検討を行う。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

需要と供給バランスのとれた公立園及び民間園の提供	①待機児童の解消を図るため、本市の保育所等で就労する保育士等の子ども16人の優先入所を行った。 ②新たに勤務した29人の保育士に対して補助を予定。 ③ひばり幼稚園の認定こども園化により、令和6年4月から59人の園児を受入れ開始予定。
民間園への支援・連携の充実	④安定した民間園の運営を図ることを目的に、施設型給付費等の給付(市内27施設43億5,800万円)や補助金の交付(市内26施設6億3,000万円)を行った。 ⑤和泉市内の保育所等に就職する保育士等の確保を促進し、待機児童の解消及び保育の更なる質の向上に資することを目的に、市主催の研修を12件案内し125人の参加があった。 ⑥年度末までに、予定していた工程について整備完了予定。

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
待機児童数(目標値:0名)	16 (99.6%)	13 (99.7%)	A

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①②③④⑤⑥令和5年4月時点で市北西部地域で13人の待機児童が発生している。ひばり幼稚園認定こども園化による効果等を踏まえ、令和6年度の待機児童及び保留児童について確認を行うとともに、令和6年度に実施するニーズ調査において、保育ニーズの必要性を見極め、対策の検討を行う。

●評価委員からの主な意見

待機児童とともに保留児童についても全国的な課題であり、保留児童については、どこまで行政として対応すべきかが難しい部分もあるが、市の状況を見極め、対応を検討いただきたい。
--

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	4	事業名	学力向上	担当課	教育・こども部 学校教育室教育センター、教育指導担当、人権教育担当
--------	---	-----	------	-----	--------------------------------------

予算額	712	百万円	決算額	675	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度主な取組内容(3項目以内)
自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成	豊かな知識や技能を身に付けた児童生徒を育む	基礎学力の確かな定着を図るとともに、社会の変化に対応した教育に取り組みます	①関係部局との合同研修による幼児教育と小学校教育を一貫する研究 ②榎尾中学校区の施設一体型義務教育学校開校に向けた小中一貫教育の取組みについて、「英語教育」「榎尾学」など具体的なカリキュラムを研究 ③いずみ希望塾の定員を420人程度から850人程度へ拡充
	主体的に判断・行動し、問題解決に導くことができる資質と能力を備えた児童生徒を育む	「思考力・判断力・表現力」を身に付けることができる教育に取り組みます	④各学校の取組好事例を全校に普及 ⑤「主体的・対話的で深い(STF)和泉の学び育成プラン」を活用し、授業改善の取組みをさらに充実 ⑥プログラミング的思考の育成について、PDCAサイクルを回すことにより年間指導計画を改善
	児童生徒一人ひとりの学び意欲と個性をひきだす	「わかる授業づくり」を推進します	⑦「主体的・対話的で深い(STF)和泉の学びプロジェクト」による授業改善の進め方検討、加えて各学校で行われている校内研修等の好事例を他校にも広げるポータルサイトの充実 ⑧研究校(小学校1校、中学校1校)において、リーディングスキルテスト(RST)を実施し、結果分析に基づいた授業改善 ⑨デジタル採点分析システムを活用した生徒一人ひとりに合った学習支援

基本方向	目標	取組方針	令和5年度主な取組内容(3項目以内)
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	社会の情報化に対応した資質・能力を育む	デジタル機器を積極的に活用した教育に取り組みます	⑩1人1台学習用端末を活用した授業づくり並びに個別最適で協働的な学びの推進

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和4年度の課題

・授業改善の取組みに課題が大きい学校に対し、全国学力・学習状況調査結果が向上するなどの成果が表れている取組みや好事例を共有し、改善をめざす。加えて全校年3回の訪問指導及び助言を行う。
 ・1人1台学習用端末を目的達成に向けて積極的に使用しているが、そのねらいと活用方法があてない場合がある。児童生徒の資質・能力の育成に資するよう効果的な活用方法についての研修を実施する。

●令和5年度の事業評価

自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成	①保育園・幼稚園・こども園の見学やスタートカリキュラム担当者会議、STF和泉の学びをつなぐ研修など、私立公立の垣根を越えた連携により、子どもの姿の共有・スタートカリキュラムの見直しができた。 ②英語教育では、授業時数特例校の認定を受け、知識だけでなく実際の英語活用場面を設定した授業づくりの研究を行い、「地域に開かれた教育課程」の実現に向け、地域や外部団体などと連携し「槇尾学」の実施計画について検討した。 ③いずみ希望塾において、856人が受講(申込者947人)。特に中学生は辞退者を除き全員受講可となり、学習機会を確保できた。また、AIドリルを教材として使用し、個に応じた学習を進めることができた。 ④学校訪問や授業改善担当者会等を通じて、好事例の普及を行った。(学校訪問：90回、授業改善担当者会：4回) ⑤学校訪問時に「主体的・対話的で深い(STF)和泉の学び育成プラン」を活用し、授業改善についての指導助言を行った。また、具体的な取組みを記載するプランを作成、見直しを行い、各学校の取組みの進捗状況の確認等に活用した。 ⑥プログラミング的思考の育成について、PDCAサイクルにより年間指導計画の改善を図った。 ⑦市教育フォーラムでの報告内容(府スクール・エンパワーメント推進事業校5校の効果的な取組み)や学力向上の取組みをさらに推し進めていくための方策(他校の授業をみる機会確保の方法・育成プランの次年度(案)等)を検討した。また、好事例共有のためのポータルサイトの充実を図った。(令和5年度：掲載数436件増加) ⑧研究校2校の結果分析から、効果がみられた取組み(言葉の意味をわかっていない子が一定数いるという前提で教材研究を行うこと、意図的に同義となるような言い換えを行うことなど)について、学校訪問や研修を通じて普及を行った。 ⑨デジタル採点・分析システムを活用した弱点補強問題の配信等により、生徒一人ひとりに合った学習支援を行った。
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	⑩1人1台学習用端末のさらなる利活用を目的とした和泉市GIGAスクール推進事業による研修を16回開催し、1人1台学習用端末を活用した授業づくりや個別最適で協働的な学びの推進など利活用を促進することができた。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	4	事業名	学力向上	担当課	教育・こども部 学校教育室教育センター、教育指導担当、人権教育担当
--------	---	-----	------	-----	--------------------------------------

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
全国学力・学習状況調査における対府比（小6）（目標値：1.00）	0.99 (99.0%)	0.95 (95.0%)	A
全国学力・学習状況調査における対府比（中3）（目標値：1.00）	0.98 (98.0%)	0.90 (90.0%)	A
児童生徒アンケートにおける授業に関する項目の肯定的回答割合（小学生）（目標値：85.0%）	82.1 (96.6%)	82.8 (97.4%)	A
児童生徒アンケートにおける授業に関する項目の肯定的回答割合（中学生）（目標値：85.0%）	81.4 (95.8%)	82.5 (97.1%)	A

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

⑤学力向上において成果を上げている学校の取組みを水平展開するとともに、学校訪問を通してその取組み進捗状況の把握及び指導助言を行う。
⑩1人1台学習用端末について、NEXT GIGAを見据えて、とにかく使ってみる段階からより効果的に活用する段階へ進んでいくために、どのように活用すれば効果的であるかについて、和泉市学校教育情報化推進計画（R6年12月策定予定）も踏まえ今後も研究を進めていく。

●評価委員からの主な意見

達成目標が市全体の結果の対府比だが、学校単位での推移や変化を分析し、次年度の取組を検討することも重要である。
教員にとって、実際の授業を見ることはとても有益なので、是非、そういった機会を充実されたい。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	5	事業名	英語教育・読書教育	担当課	教育・こども部学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	-----------	-----	--------------------

予算額	140	百万円	決算額	134	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の実施内容(3項目以内)
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	国際社会に貢献する人材を育む	世界の人々と協働するため、国際社会への理解や英語力とコミュニケーション能力を高める教育に取り組みます	①実用英語技能検定の受検料を補助することにより、主体的に英語活用に取り組む姿勢や英語運用能力の向上 ②教員の授業力、指導と評価の一体化に向けた研修等の充実 ③ALTを配置し、英語活用の実際の場面やコミュニケーションを主眼とした授業の実施

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の実施内容(3項目以内)
自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成	主体的に判断・行動し、問題解決に導くことができる資質と能力を備えた児童生徒を育む	知的活動の基盤となる国語能力を向上させる読書活動に積極的に取り組みます	④学校図書館司書の資質向上や、各校の取組みなどの情報共有を目的とした学校図書館司書連絡協議会の開催 ⑤学校図書館の学習・情報・読書センター機能の充実に向けて、各校の取組事例を司書教諭連絡協議会及びポータルサイトで共有

●令和4年度の課題

・英検3級相当(CEFR:A1相当)以上の中学3年生の割合を50%以上とする目標を掲げているが、直近5年間は45%前後で推移している。教員の授業力向上を軸にALTを活かした授業づくりができるよう、研修の充実を図る。
・小学校、中学校ともに、令和4年の全国学力・学習状況調査の結果分析で「多くの情報の中から必要なものを選択し、順序だてて表現する力」に課題があることから、学校図書館を活用した授業の好事例の共有を図るため、研修を充実させるとともにポータルサイトの活用を促進する。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	①実用英語技能検定の3級以上の受験率の上昇(R4:36.8%⇒R5:41.2%)に伴い、英検3級相当(CEFR:A1相当)以上の中学3年生の割合が上昇(R4:44.8%⇒R5:46.7%)し、主体的に英語活用に取り組む姿勢及び英語運用能力の向上が見られた。 ②英語コーディネーターの授業公開研修を実施し、小学校英語専科教員と各中学校及び義務教育学校の担当教員による研究協議を通して、小中の系統的な指導と評価について理解を深化させるとともに教員の授業力向上を図った。 ③市内全校へのALTの配置により、コミュニケーションを主眼とした授業実践に取り組んだ。小学5・6年生の授業における英語の言語活動の割合(授業の75%以上)が上昇(R4:47.6%⇒R5:64.2%)し、小学5年生の英語アンケート「先生や友だちと英語でやりとりできる」の項目では、肯定的回答が上昇(R4:65.4%⇒R5:66.7%)し、英語活用への意欲向上も見られた。
自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成	④司書教諭連絡協議会を年間2回、学校図書館司書連絡協議会を年間3回実施し、各校における取組みの情報共有を行うとともに、学校図書館を活用した授業づくりについて、本をすぐ手に取れる環境づくり等の好事例を発信することで、市全体の言語能力向上の必要性や課題意識を高めることができた。 ⑤各校の学校図書館を活用した授業づくりの取組事例をポータルサイトで共有できた。また府の「学校図書館を充実・活用するためのモデル校」である芦部小学校の実践も共有できた。

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
英検3級相当(CEFR:A1相当)以上の中学3年生の割合(目標値:60.0%以上)	44.8 (74.7%)	46.7 (77.8%)	C
全国学力・学習状況調査(国語)における対府比(小6)(目標値:1.00)	0.98 (98.0%)	0.95 (95.0%)	A
全国学力・学習状況調査(国語)における対府比(中3)(目標値:1.00)	1.00 (100.0%)	0.93 (93.0%)	A

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①②③英検3級相当(CEFR:A1相当)以上の中学3年生の割合を60%以上とする目標に対して、上昇は見られるものの依然として50%を下回っている。生徒の英検受検をより一層促すとともに、ALTを生かした授業づくりができるよう、担当教員の授業力向上にかかる研修の充実を図る。 ④全国学力・学習状況調査(国語)における対府比を向上させるため、司書教諭連絡会、学校図書館司書連絡協議会を通じて、府の「学校図書館を充実・活用するためのモデル校」の実践や好事例を発信するとともに、学校図書館の電算化等を通じて、読書活動を推進し、市全体の言語能力の育成を図る。

●評価委員からの主な意見

英検3級相当以上の中学3年生の割合向上に向けて、さらに工夫されたい。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	6	事業名	教職員の資質向上	担当課	教育・こども部学校教育室教育センター、教職員担当
--------	---	-----	----------	-----	--------------------------

予算額	47	百万円	決算額	38	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度主な取組内容(3項目以内)
自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成	児童生徒一人ひとりの学び意欲と個性をひきだす	教職員の資質と能力の向上を図ります	①「主体的・対話的で深い(STF)和泉の学び」を推進するため全校訪問し授業改善の取組を普及 ②これからの子どもたちが身につける「資質・能力」の育成をめざし、公開校内研修の充実、自ら学ぼうとする教員を育成するための重点研修実施や和泉市夏季・冬季一括募集研修を充実 ③スクールサポートスタッフ配置校を10校から12校に拡充

●令和4年度の課題

・子どもたちに「未来を創り出す資質・能力」の育成を図るために、教員が学習指導要領に基づいた授業づくりや授業改善を進めていけるよう公開校内研修の充実、市主催の研修「IZUMI e シェアリング研究会」の参加者の増加を図る。

・教員の働き方改革については、ここ数年で各教員の意識も大きく変化し、行事の精選等も図られているが、依然として業務過多となっている教員が一定数いるため、各校における校務分掌の平準化及びさらなる行事等の精選を行うことで効率化を図る。また、スクールサポートスタッフの人材確保についても大きな課題であることから、ホームページや広報いずみを活用するなど人材確保に努める。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

自らの未来を切り拓く「確かな学力」の育成	①年間90回の全校訪問を行い、授業改善にかかる指導助言を行うとともに、訪問で収集した好事例を「IZUMI e シェアリング」に随時追加掲載することで、ポータルサイトの充実を図ることができた。 ②公開校内研修や自ら学ぼうとする教員を育成するための重点研修及び和泉市夏季・冬季一括募集研修など、各学校への積極的な情報発信や開催曜日の工夫を行い、教員の学ぶ機会を増加させることができた。(公開校内研修：60回、重点研修：10回、一括募集研修：4回) ③スクールサポートスタッフ配置校(12校)において、所属教員へのアンケート調査から、令和4年度と比較すると「子どもと関わる時間が多くなった」「学力向上に関する改善・効果がある」という肯定的回答がそれぞれ4.6ポイント、9.3ポイント向上し、教員の働き方の充実を図ることができた。
----------------------	--

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
教員アンケート(資質・能力を育む授業づくり)の数値の肯定的回答割合の向上(目標値：85.0%)	82.7 (97.3%)	85.2 (100.2%)	S

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①中学校の授業改善をさらに推進するために、STF和泉の学び研究推進事業モデル指定校の学校公開へ全中学校の教員が参加できるようにする。 ③教員の働き方改革については、学校行事の精選（宿泊行事の日帰り実施・運動会の半日実施等）等は図られているものの、長期間に及ぶ生徒・保護者対応や昨今の教員(講師)不足等のため、業務過多となっている教員が一定数存在する。各校における生徒指導体制の改善や校務分掌の平準化を図る必要がある。スクールサポートスタッフの人材確保については、市のホームページを活用し必要人数を確保することができた。

●評価委員からの主な意見

教員の働き方の充実に向けては、教員が本来取り組むべき業務に時間をかけられるような形をとられたい。 「生徒指導体制の改善」にあたっては教職員だけでの対応とならないよう引き続き組織的な取組みを進められたい。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	7	事業名	生徒指導・教育相談体制の充実	担当課	教育・こども部 学校教育室教育指導担当、教育センター
--------	---	-----	----------------	-----	-------------------------------

予算額	40	百万円	決算額	40	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
「豊かな心」の育成	だれもが安心して過ごせる学校づくりの推進	いじめ、暴力行為、不登校などの未然防止や早期発見、早期対応に向けて必要な措置を講じるとともに、児童生徒が抱える課題の多様化に対応できる体制の構築に取り組めます	①スクールカウンセラーの配置時間数を拡充 ②スクールソーシャルワーカー配置時間数を拡充 ③発達検査及び行動改善支援の時間数を拡充

●令和4年度の課題

・いじめ等の生徒指導、新規不登校児童生徒の増加、虐待やヤングケアラー等の家庭環境に係る課題、様々な問題行動など、児童生徒を取り巻く問題については、多様化、複雑化し、対応が困難となるケースが増加している。多職種の専門家が連携、協働する機会を意図的に設定し、必要な資源を活用しながら、チームとして組織的対応を行うことにより、各ケースにおける重篤化を防ぐ。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

「豊かな心」の育成	①②スクールソーシャルワーカーの配置時間数(R4:2,400時間→R5:2,800時間)及び、スクールカウンセラーの配置時間数(R4:1,582時間→R5:1,694時間)を拡充することで、専門家を活用した組織的なチーム対応の体制づくりが進み、問題行動等の未然防止、初期対応が充実した。 ③臨床心理士により、児童生徒の発達検査を行い、検査後、保護者と関係教員に対して行動改善支援を行うことができた。【218件実施：令和4年度175件】。
-----------	--

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
新規不登校児童数(千人率)の減少(目標値 12.0)	13.3 (89.2%)	9.7 (119.2%)	A
新規不登校生徒数(千人率)の減少(目標値 25.0)	26.4 (94.4%)	28.0 (88.0%)	B
相談・指導等を受けていない不登校児童生徒数の減少(目標値 0人)	309 (42.5%)	7 (98.7%)	A

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満(前年度より改善) D：達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①②日々生起するケースの重篤化を防ぐため、多職種の専門家が適切なタイミングで連携できるようスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置時間を継続的に拡充していく。また、更にチーム学校としての組織対応を充実させるために、総合教育会議での議論を踏まえ、市教育委員会にスクールロイヤー及び社会福祉士を配置し、様々な事案について各学校等に適切な対応を指導助言する市緊急支援チームの機能を充実させていく。
--

●評価委員からの主な意見

スクールロイヤーについて、効果的に活用できるよう進められたい。
--

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	8	事業名	道徳教育	担当課	教育・こども部学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	------	-----	--------------------

予算額	0.40	百万円	決算額	0.24	百万円
-----	------	-----	-----	------	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度的主要取組内容(3項目以内)
「豊かな心」の育成	人間性豊かな児童生徒を育む	道徳的価値を深めることができる環境づくり、授業づくりに取り組みます	①全校において「和泉市豊かな心をはぐくむ授業公開」を実施 ②「特別の教科 道徳」について、道徳教育推進教師の研修を実施

基本方向	目標	取組方針	令和5年度的主要取組内容(3項目以内)
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	郷土和泉を誇りに思い愛する心を育む	郷土の伝統と文化を正しく理解し、深めるための教育に取り組みます	③伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度を育成し、郷土への誇り、地域における伝統などについて理解を深める「特別の教科 道徳」の授業を実施 ④社会科副読本「わたしたちの和泉市」、郷土史読本「こがねちゃんと出かけよう！いずみ歴史さんぽ」「郷土の学習」等を活用し、児童生徒の郷土和泉を誇りに思い愛する心を育む授業を実施(対象学年ごとに年間1回以上)

●令和4年度の課題

・「和泉市輝く子どもを育む教育のまち条例」が策定されたことに加え、コロナ禍等に伴い子どもたちを取り巻く状況が大きく変化していることから、「和泉市心豊かな子ども育成連絡会」のあり方を見直し、社会総がかりで子どもを育てていく方策を検討する。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

「豊かな心」の育成	①全校において「和泉市豊かな心を育む授業公開」を実施し、「積極的に地域・保護者の意見を聴取するなど工夫している」と回答する学校が80%となっており、家庭や地域と連携して道德教育を進めることの必要性について教員の意識が高まった。 ②和泉市道德教育推進教師研修会を年に2回開催した。本年度は、大阪教育大学の小林将太准教授を講師として招聘し、「考え議論する道德」について学び、各校において実践することができた。
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	③④活用事例の共有や今後の活用方策を検討することを目的に、郷土史読本検討会議を2回開催するとともに、各学校において、郷土への誇り、地域における伝統などについて理解を深めるための授業を、社会科副読本や郷土史読本を活用して実施した。(全国学力・学習状況調査における「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」の肯定的回答 小学校68%、中学校56%)

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「道德の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の肯定的回答割合(小6)(目標値:88.0%)	87.0 (98.9%)	82.0 (93.2%)	A
全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「道德の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の肯定的回答割合(中3)(目標値:80.0%)	79.0 (89.8%)	78.0 (88.6%)	B

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①「和泉市豊かな心を育む授業公開」を実施し、道德科の授業について家庭や地域に理解してもらうことはできたが、「考え議論する道德」が求められる中、「道德性の涵養」は、学校教育だけではなく、家庭・地域と一体となり取り組む必要がある。令和6年度からは、地域と連携した道德の取組みを充実させるため道德教育全体計画別葉の活用を推進し、好事例を情報発信する。

●評価委員からの主な意見

「考え、議論する道德」について、研修に加え、教員が実際に良い授業を見て、実感を持って学ぶ機会を増やすことにも取り組まれない。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	9	事業名	人権を尊重した教育	担当課	教育・こども部学校教育室人権教育担当
--------	---	-----	-----------	-----	--------------------

予算額	272	百万円	決算額	247	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
「豊かな心」の育成	人間性豊かな児童生徒を育む	豊かな人権感覚をもって行動し、一人ひとりの価値観や性別・国籍・障がいなどの「多様性」を認め合うとともに、人を思いやり、一人ひとりの感性を大切に育てる児童生徒を育みます	①人権教育、支援教育に係る教職員への研修実施 ②性の多様性への理解を深める取組みの実施 ③支援学級介助員、通常学級で支援を要する児童生徒への支援を行う支援員、学校看護師に加え、学習支援サポーター及び学校看護師コーディネーターを新たに配置。語学指導員の派遣時間数を増加。

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	国際社会に貢献する人材を育む	世界の人々と協働するため、国際社会への理解や英語力とコミュニケーション能力を高める教育に取り組みます	④日本語指導が必要な児童生徒や外国人児童生徒に対する理解を広げ、深めるための多文化共生教育及び研修の実施

●令和4年度の課題

・令和5年度に通級指導教室が大幅に増加することで、新たに担当する教員のスキルアップが急務であることから、担当教員への研修を充実させる。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

「豊かな心」の育成	①人権教育実践交流会を年間4回実施し、経験年数の少ない教員の実践力の向上を図るとともに、コグトレ研修(年間6回)、支援教育コーディネーター研修(年間4回)、和泉市支援教育研修(年間3回)、通級指導担当者会(リーダー：8回、全体：7回、グループ別：4回)を通じ、支援を要する児童生徒への適切な支援及び対応について教員の資質向上を図った。 ②宝塚大学教授日高庸晴氏を講師に招き、全校の管理職及び担当教員を対象に「LGBTQの児童生徒の存在を認識した学校での取組み」についての研修を実施し、教員の性の多様性への理解を深めることができた。(事後アンケート「学校の取組み推進の参考になった」肯定的回答100%) ③支援学級介助員61人(R4:63人)、通常学級で支援を要する児童生徒への支援員8人(R4:8人)、学校看護師12人(R4:14人)、語学指導員15人(R4:13人)に加え、新たに学習支援サポーターを10校に、学校看護師コーディネーターを学校教育室に配置し、個別に支援、配慮を必要とする児童生徒に向け適切な支援を行った。
情報化・国際化社会で活躍する人材の育成	④日本語指導加配教員連絡会を年間4回実施し、日本語指導が必要な児童生徒や外国人児童生徒に関する情報共有及び指導方法や計画の練り上げを行うとともに、巡回校で研修を実施する等、校内支援体制の構築を進めることができた。また、在日外国人教育研修(年1回)を実施し、外国人児童生徒に対する具体的な支援策を考え、今後の進路指導の一助となるよう研修の充実に取り組んだ。

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「人が困っているときは、進んで助けていますか」の肯定的回答割合(小6)(目標値：88.0%)	87.7 (99.7%)	87.0 (98.9%)	A
全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「人が困っているときは、進んで助けていますか」の肯定的回答割合(中3)(目標値：85.0%)	82.1 (96.6%)	80.7 (94.9%)	A

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満(前年度より改善) D：達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

③④日本語指導が必要な児童生徒の増加が今後も見込まれる。日本語未習得の状態でも渡日する児童生徒も増えており、語学指導員の派遣や翻訳機の導入等で対応していく。
--

●評価委員からの主な意見

日本語指導については、対象児童生徒が困ることのないように、今後も充実を図りたい。
--

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	10	事業名	我が町における子どもの育成	担当課	教育・こども部学校教育室教育指導担当
--------	----	-----	---------------	-----	--------------------

予算額	14	百万円	決算額	14	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の実施内容(3項目以内)
「豊かな心」の育成	規範意識と豊かな情操を培う	「いずみあいさつ運動」をはじめ、地域で子どもたちを温かく見守る人々との交流を促進します	①毎月11日の「いずみあいさつ運動」時に、校区のパトロールを実施、各校児童会や生徒会を中心に「あいさつ運動」の充実 ②地域人材ボランティアを活用した、登下校時における児童生徒の見守り活動実施 ③「ふるさと元気寄附金」の活用による、のぼり旗等の作成、見守り活動推進

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の実施内容(3項目以内)
家庭・地域と連携した健全な子どもの育成	自ら進んで家庭で学習する児童生徒を育む	家庭・地域と連携し、基本的な生活習慣や社会的マナーを身につける教育に取り組めます	④学校支援地域本部事業での学校支援活動及び我が町の子どもの育てよう事業での地域に根ざしたイベント、講演会、子育て教室、清掃活動などの実施
	地域とともに歩む学校づくりの推進	社会総がかりで子どもを育む環境を整えます	⑤学校運営協議会研究推進委員会を1中学校区、7中学校で新たに発足し、学校運営協議会への移行に向けた協議を実施

●令和4年度の課題

・新型コロナウイルスの影響で中止・規模縮小した取組みやボランティア参加者数の減少が回復できていないことから、各中学校区での地域教育協議会での特色ある取組みや学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)・学校運営協議会研究推進委員会を生かした取組み等の情報発信を行い、学校や地域の実態に合わせて教育活動や地域のイベント等への参画について他の事例を参考に様々な工夫を取り入れられるようにする。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

「豊かな心」の育成	①毎月11日の「いずみあいさつ運動」にあわせ、青色パトロールカーで巡回し、その啓発や周知を図った。 ②全校で児童会生徒会、見守り隊等によるあいさつ運動を実施し、地域との交流や豊かな心の育成を図った。 ③あいさつ運動の啓発用のぼり旗を各学校へ5枚ずつ配付し運動の活性化を図った。
家庭・地域と連携した健全な子どもの育成	④地域教育協議会や学校支援地域本部の活動がコロナ禍以前と同等に実施され、子どもたちと地域のつながりを深めることができた。 ⑤すでに発足させている南松尾はつが野学園、槇尾中学校区に加え、富秋中学校区と7中学校において学校運営協議会研究推進委員会を発足させ、学校運営協議会への移行を推進することができた。

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の肯定的回答割合(小6)(目標値:75.0%) (R4質問項目「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」)	45.4 (60.5%)	67.8 (90.4%)	B
全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の肯定的回答割合(中3)(目標値:75.0%) (R4質問項目「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」)	38.1 (50.8%)	55.9 (74.5%)	C

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

④地域教育協議会、学校支援地域本部の運営には、教職員が関わることも多く、学校教職員の働き方への配慮について検討が必要。教員が本来すべき業務とそうでない業務の明示や地域行事などへの参画のあり方についての方針を示すことなどにより改善を図る。 ⑤学校運営協議会の発足に向けて、地域の理解と人材の確保を図る必要があるため、制度の趣旨等について、情報発信や研修会を行う。

●評価委員からの主な意見

取組の成果の数値化を行い、校区ごと、取組状況ごとの推移、傾向を分析し課題や改善策の検討に取り組まれない。
--

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	11	事業名	健康教育・体力向上	担当課	教育・こども部学校教育室教育指導担当
--------	----	-----	-----------	-----	--------------------

予算額	65	百万円	決算額	58	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の実施内容(3項目以内)
たくましく生きるための「健康・体力」の増進	成長の基礎となる健康・体力を増進する	運動習慣の定着に向けた取組みを推進します	①始業前や休み時間などの短時間を活用した効果的な運動を実践するための備品・消耗品の購入 ②担当教員研修会を通じて、指導方法の工夫改善により、各校の運動習慣・体力づくりの取組みを推進 ③民間施設を活用した水泳授業の拡充
		心身両面の健全な発達を育む取組みを推進します	④各校において、和泉市薬剤師会等による「薬物乱用防止教室」を実施 ⑤青少年薬物汚染防止対策推進会議の開催 ⑥がん教育の出前授業

●令和4年度の課題

・「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果からも、長期間にわたるコロナ禍の影響は大きく、児童生徒の体力の課題は深刻であることがわかった。体力向上については、継続的な取組みが必要であり、運動意欲を伸ばしたり、運動機会を確保していくだけでなく、研修や担当者会の中で様々な好事例を市全体で積極的に共有し、子どもたちの体力向上につなげていく。

・学校水泳民間屋内プール活用事業は、施設や利用校を拡充予定であり、今後事業者間の調整や学校間との日程調整がより難しくなることが予想される。指導方法の共通化や円滑な運営ができるよう、事業者説明会や担当者説明会などを実施し、スムーズに運営ができるようにする。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

たくましく生きるための「健康・体力」の増進	①短時間を活用した効果的な運動等に係る備品や消耗品を希望する10校に配付し、運動環境の充実を図った。 ②体力向上担当者会を実施し、体力づくり推進計画の活用推進を図った。また、大阪体育大学准教授小林博隆氏を講師に招き、「小学校体育実技講習会」を実施し、教員の指導力向上を図ることができた。 ③民間屋内プールを活用した水泳授業のモデル事業を拡充し、中学校1校、小学校10校（R4:4校）を対象に5事業者6施設において実施し「安全性」、「快適性」、「専門性」が向上した。また、自校実施の小学校に向けては、各校1名インストラクターを派遣し、指導の質を高めることができた。 ④全校で薬剤師や警察官などの専門家を活用した薬物乱用防止教室を実施し、児童生徒の薬物乱用への注意喚起、危険性の理解を深めることができた。 ⑤青少年薬物汚染防止対策推進会議を開催し、関係機関や関係団体の代表者が情報共有などを行うことで、児童生徒の健全な発達を育むネットワークの連携強化を図ることができた。 ⑥医師や看護師などの専門家によるがん教育出前授業を3校で実施し、健康への意識の醸成と正しい知識理解の定着を図ることができた。
-----------------------	--

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
全国・体力、運動能力、運動習慣等調査において、対象学年(小5・中2)男女の体力合計点(対府比) (小5) (目標値:1.01)	男:0.96 (95.0%)	男:0.99 (98.0%)	A
	女:0.98 (97.0%)	女:0.99 (98.0%)	A
全国・体力、運動能力、運動習慣等調査において、対象学年(小5・中2)男女の体力合計点(対府比) (中2) (目標値:1.01)	男:1.01 (100.0%)	男:1.03 (102.0%)	S
	女:1.01 (100.0%)	女:1.00 (99.0%)	A

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①②「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から、小学5年男子が49.49から50.99、女子が51.92から52.16、中学2年男子が39.83から41.14と令和4年度と比べ令和5年度の体力合計点が高くなっているものの、令和3年度と比べると小学5年男子が51.13から50.99、女子が53.11から52.16、中学2年女子が47.15から45.47と体力合計点が低くなっていることがわかった。運動能力の育成、運動習慣の定着における重要な時期にコロナ禍の影響を受けたため、依然として児童生徒の体力の課題は深刻である。体力向上については、継続的な取組みが必要であり、運動意欲を伸ばしたり、運動機会を確保していくだけでなく、研修や担当者会の中で様々な好事例を市全体で積極的に共有し、子どもたちの体力向上につなげていく。 ③学校水泳民間屋内プール活用事業は、施設や利用校を拡充予定であり、学校間の日程調整が複雑になる。早めの日程調整を行うことにより調整をスムーズに行えるようにする。

●評価委員からの主な意見

重点化、モデル事業実施校と、それ以外の学校の数値についての相関を分析したり、全国、府、校区ごとの比較をおこなって特徴を把握することも重要である。
--

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	12	事業名	食育及び学校給食	担当課	教育・こども部学校園管理室保健給食担当
--------	----	-----	----------	-----	---------------------

予算額	490	百万円	決算額	461	百万円	※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載
-----	-----	-----	-----	-----	-----	--

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
たくましく生きるための「健康・体力」の増進	心身の健康を増進する	自校調理による安全で栄養バランスの良い学校給食を提供し、家庭・地域と連携した食育を推進するとともに、食への理解を深めます	①北松尾小学校調理業務委託の導入準備 ②調理員を対象とした衛生管理研修の実施 ③家庭における食育の啓発

●令和4年度の課題

・自校調理による安心・安全でおいしい給食の提供の維持・継続のため、調理員に対し、衛生管理やアレルギー事故防止のための研修を実施するとともに、給食調理委託新規校については、円滑に業務を開始することができるよう、学校や委託事業者と協議・調整を図る。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

たくましく生きるための「健康・体力」の増進	①北松尾小学校給食調理業務委託の導入にあたり、学校や委託事業者と協議・調整を図り、円滑に給食調理業務の開始準備を行うことができた。 ②調理員（委託事業者を含む）を対象に、令和5年度保健所による衛生管理巡回指導結果に基づく衛生管理講習会を開催し、事故を防止するための具体的な指導を行った。また、調理技術の向上を図るため、ビデオ撮影した複数校の「ホワイトルー」の調理風景を比較し、「ホワイトルー」を美味しく作るための工夫等について検討を行った。 ③バランスの良い食生活について市民に情報提供を行うため、学校の「給食だより」や「ホームページ」で献立メニューを紹介したほか、「広報いずみ」で献立レシピの紹介を行った。
-----------------------	---

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
学校給食がおいしいと感じている児童の割合(目標値：95.0%以上)	94.3 (99.3%)	95.0 (100.0%)	S
学校給食がおいしいと感じている生徒の割合(目標値：92.0%以上)	91.1 (99.0%)	90.1 (97.9%)	A

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①②自校調理による安心・安全でおいしい給食の提供の維持・継続のため、調理員に対し、衛生管理やアレルギー事故防止のための研修を実施するとともに、給食調理委託新規校については、円滑に業務を開始することができるよう、学校や委託事業者と協議・調整を図る。

目標の達成に向け、栄養価や多種多様な食材の使用に考慮しながら、喫食率の上昇につなげることができる献立の作成と併せ、給食指導に取り組む。

●評価委員からの主な意見

取組の成果において、9割を超える児童生徒が学校給食をおいしいと感じていることは評価できる。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	13	事業名	学校保健の充実	担当課	教育・こども部学校園管理室保健給食担当
--------	----	-----	---------	-----	---------------------

予算額	124	百万円	決算額	87	百万円
-----	-----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
たくましく生きるための「健康・体力」の増進	心身の健康を増進する	各種健康診断や学校内事故に対する対応体制の確保など授業を受けるための環境支援に取り組みます	①「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」の改訂 ②学校女子トイレへの生理用品の設置 ③有所見者に配付する「健診結果通知」の様式の見直し

●令和4年度の課題

・各種健診の有所見者の受診率向上に向けて、未受診者に対し効果的な受診勧奨を行う。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

たくましく生きるための「健康・体力」の増進	①「和泉市学校給食食物アレルギー対応検討委員会」の答申を踏まえ、「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」の改訂を行った。食物アレルギー対応の充実を図るべく、対応方法を具体的に記載した。 ②学校における生理用品の配布について、教職員に言い出しにくい女子児童生徒に配慮し、令和5年度2学期から女子トイレに生理用品を設置した。 ③正確に未受診の有所見者を把握するため、治療中の有所見者に対し、治療中である旨を報告するよう、有所見者に配付する「健診結果通知」の様式を見直した。(令和6年度から使用)
-----------------------	---

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
内科健診有所見者受診率(目標値：50.0%以上)	40.1 (80.2%)	52.1 (104.2%)	S
歯科健診有所見者受診率(目標値：50.0%以上)	48.7 (97.4%)	55.7 (111.4%)	S

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

③健診の有所見者の受診率向上に向けて、正確に未受診者を把握のうえ、効果的な受診勧奨を行う。

●評価委員からの主な意見

健診の有所見者の未受診者について、更なる受診率向上に取り組まれない。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	14	事業名	教材の充実・管理経費の適正化	担当課	教育・こども部学校園管理室教育施設担当
--------	----	-----	----------------	-----	---------------------

予算額	835	百万円	決算額	605	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
教育環境の充実	学びの意欲を向上させる学習環境の提供	児童生徒が授業を受けやすい学習環境・教職員が授業を行いやすい環境づくりに取り組みます	①学校図書の蔵書率向上のため、図書室に新たな書架を整備 ②小学校の普通教室、中学校体育館等への空調設備設置に伴い、更なる光熱水費の適正利用を推進 ③小学校全学年が段階的に35人学級制度へ移行することに伴う計画的な物品の調達

●令和4年度の課題

・学校図書館の蔵書率を向上させるため、図書室に新たな書架を整備する。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

教育環境の充実	①蔵書率向上のために、小学校3校及び中学校3校に書架の配置を行った。 ②校長会を通じ光熱水費の適正利用を促した。 ③南池田小学校、北池田中学校、南松尾はつが野学園において、学級数の増加に伴う必要物品の調達を行った。
---------	---

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
学校図書館図書標準の達成校数(目標値：30校全校達成)	24 (80.0%)	26 (86.7%)	B

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①学校図書館の蔵書率を向上させるため、図書室への新たな書架の整備を継続する。 ※予算額と決算額の差異（230百万円）の要因は、光熱費について、物価高騰の中、国による事業者への補助制度があったため、想定よりも使用単価の上昇が抑えられたことによるもの。

●評価委員からの主な意見

学校図書館図書標準の達成状況について、前年度より改善傾向にあるが全校達成に向けて着実に取り組まれない。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	15	事業名	小中学校の施設維持管理	担当課	教育・こども部 教育総務課・学校園管理室教育施設担当
--------	----	-----	-------------	-----	-------------------------------

予算額	3,063	百万円	決算額	2,000	百万円
-----	-------	-----	-----	-------	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の実施内容(3項目以内)
教育環境の充実	安全・安心で快適な学校環境の提供	学校生活が快適に過ごせるような環境整備や少子化傾向・施設の老朽化を勘案したファシリティマネジメントに取り組めます	①(仮称)榎尾学園について、新体育館の完成及び新校舎整備に着手するほか、(仮称)富秋学園について、設計施工を一括して実施するデザインビルド事業者の選定及び設計業務に着手 ②和泉市教育施設等長寿命化計画に基づき、北池田中学校の外壁改修等工事に着手 ③災害時避難所である小学校体育館、未整備の特別教室等の空調設備について実施設計業務

●令和4年度の課題

- ・(仮称)榎尾学園において、順次竣工を予定している体育館、校舎を榎尾中学在校生が利用するため、学校運営に支障が生じることのないよう、学校や事業者等と十分な調整を図る。また、(仮称)富秋学園においては、建設物価の上昇が続いており、契約金額と実勢価格の乖離が生じる事態が想定されるため、実勢に応じた提案上限額の設定を行う。
- ・空調整備に関しては、更なる光熱費の高騰が懸念されるため、学校園に対して適正利用を促す。
- ・南松尾はつが野学園増築工事の調整を学校及び建築部局と密に連携を図り、令和6年度備品調達等の供用開始に向けた準備を行う。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

教育環境の充実	①（仮称）槇尾学園では、体育館が竣工し在校生利用をスムーズに開始することができたほか、（仮称）富秋学園では、物価動向が不安定な中ではあったが、デザインビルド事業者の選定に至り契約を締結することができた。 ②和泉市教育施設等長寿命化計画に基づき、北池田中学校において外壁改修等の大規模改修工事を竣工することができた。 ③小学校体育館や特別教室、給食室の空調設備の新設・更新に関して、令和6年度整備校の実施設計業務を完了することができた。
---------	--

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
校舎大規模改修の実施棟数(目標値：1棟【令和5年度】)	—	1 (100.0%)	S

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①（仮称）槇尾学園において、令和6年度2学期から槇尾中学校在校生による新校舎の利用が始まるため、学校運営に支障が生じないよう、学校や事業者等と十分な調整を図る。 ※予算額と決算額の差異（1,063百万円）の要因は、営繕工事や施設管理関連の業務委託に関する入札差金によるもの。また、令和5・6年度の2か年で行う（仮称）槇尾学園の整備工事について、予算の一部を翌年度に繰越したため。

●評価委員からの主な意見

今後の施設整備や維持管理については、児童生徒数の推計に留意のうえ取り組まれない。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	16	事業名	生涯学習環境づくり	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-----------	-----	--------------------

予算額	685	百万円	決算額	632	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度主な取組内容(3項目以内)
生涯を通じた「学習活動」の促進	一人ひとりが、生涯にわたり生きがいをもって豊かな人生を歩む	必要なときに必要な学びを提供できる環境整備に努めます	①青少年の家のリニューアルオープンに向け、基本計画を策定し、基本設計及び実施設計に着手 ②生涯学習ポータルサイトを構築 ③和泉シティプラザ開館20周年記念事業として、幅広い世代に参加してもらえるイベントを開催
	学習の成果を生かして活躍することができる場の提供と、地域に貢献する人材の育成、さまざまな交流やコミュニティの創出	学習の成果をいかして活動できる場の提供に取り組みます	④いずみ市民大学において、市民ニーズに応じた講座提供を行うことにより、多様な人材を確保し市民相互のネットワークを拡大

●令和4年度の課題

- ・ 青少年の家を、南部地域の拠点としてより多くの人に利用される施設とするため、令和7年度のリニューアルオープンに向けて基本設計・実施設計を行う必要がある。
- ・ いずみ市民大学は、新たな付加価値(資格取得支援・万博やSDGs等)を加え内容を刷新し、幅広い受講者獲得に向けて取り組む必要がある。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

生涯を通じた「学習活動」の促進	①令和4年度に作成した基本計画(案)の内容を精査し、基本計画を策定した。また、国の交付金を活用するため、令和8年度のリニューアルオープンをめざしたスケジュールに修正し、基本設計及び実施設計に着手した。 ②これまで年2回発行していた生涯学習情報誌「まなびのいずみ」に代わる情報発信ツールとして、市内で行っている生涯学習教室やスポーツ教室などの生涯学習に関するあらゆる情報を集約した「生涯学習ポータルサイト」を構築。令和6年4月から運用を開始する。 ③和泉シティプラザ開館20周年記念事業として「上方演芸会」(419人)、「ワンワンとあそぼうショー」(1,257人)、「ミュージックウェーブ」(432人)、「謎解き脱出ゲーム」(209人)を開催し、多くの参加者が集まった。 ④いずみ市民大学のまちづくり学部において、新たな内容として、2025大阪・関西万博に関する講義や、ボランティアコーディネーション検定対策講座を取り入れ、3学科開催し、29人が受講された(R4:3学科・52人受講)。 教養学部では、「泉州学」や「源氏物語」、「悠久の古代エジプト王朝史」など文学や歴史に関する講座の人气が高く、前期と後期合わせて12講座開催し、537人(12月末)の受講があった(R4:12講座・694人受講)。
-----------------	---

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
いずみ市民大学受講者数(目標値:700人)	746 (106.6%)	566 (80.9%)	B

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①青少年の家を南部地域の拠点施設となるよう活性化を図るため、令和8年度中のリニューアルオープンをめざす。令和6年度に基本設計・実施設計を完了し、高騰している改修工事費の市の負担軽減のため、国の交付金の獲得や料金体系の見直し、利用人数制限の見直しなどに取り組む。 ③いずみ市民大学において、令和5年度は資格取得支援講座の取入れなど新たな内容に取り組んだが、申込者数が伸びなかったため、内容の再度の見直しが必要である。 ※予算額と決算額の差異(53百万円)の主な要因 コミュニティセンター外壁等改修工事費及び生涯学習センター空調設備改修工事について、落札差異が生じたほか、青少年の家改修設計委託料について、基本・実施設計業務の着手スケジュールを見直し、令和6年度に繰越すこととなったため。

●評価委員からの主な意見

多種多様な講座を開催することと、多様な人が受講できる受講環境の整備に努められたい。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	17	事業名	社会教育環境づくり	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	-----------	-----	--------------------

予算額	4	百万円	決算額	3	百万円
-----	---	-----	-----	---	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
生涯を通じた「学習活動」の促進	学習の成果を生かして活躍することができる場の提供と、地域に貢献する人材の育成、さまざまな交流やコミュニティの創出	多様化する時代に即した地域社会、コミュニティの形成がなされる環境づくりに取り組みます	①社会教育委員会議の開催 ②PTA協議会活動の支援 ③はたちのつどいの運営支援(はたちのつどい企画委員との連携)

●令和4年度の課題

・新型コロナウイルス感染症流行が始まって以来、はたちのつどいは従来の1会場3部制から2会場7部制(R1)や1会場6部制(R2～4)で開催してきたが、感染症が5類に引き下げられることや状況の変化に鑑み、開催方法の見直し周知に取り組む必要がある。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

生涯を通じた「学習活動」の促進	①3月に社会教育委員会議を開催し、市の社会教育施策に関する意見聴取を行った。 ②PTA協議会の自主的な活動を促すため補助金を交付し、PTA間の横の連携強化を図り、SNSやオンラインゲームに関する講演会等を開催するよう支援を行った。 ③令和6年1月8日(月・祝)にはたちのつどいを4部制で開催し、1,582人(参加率77.0%)が参加した(R4:1,614人・74.2%)。
-----------------	--

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
はたちのつどい参加率(目標値:75%)	74.2 (98.9%)	77 (102.7%)	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

③はたちのつどいについて、式典内容の固定化や会場敷地内での飲酒等の課題があり、それらの見直しに取り組む必要がある。

●評価委員からの主な意見

はたちのつどいについては、課題への対応に留意し、活性化に取り組まれない。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	18	事業名	スポーツ施設の運営	担当課	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当
--------	----	-----	-----------	-----	----------------------

予算額	193	百万円	決算額	190	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	誰もが身近な場所でスポーツに親しみ、生きがいや健康を育む	スポーツを行う環境を整えます	①スポーツ施設の営繕、改修等の実施(光明池球技場テニスコート防球ネット設置、光明池緑地運動場事務所外壁及び屋上防水改修工事等) ②指定管理者と協議し、キャンペーン等の実施により稼働率向上に向けた取組みを実施 ③ランニングコースの周知・活用

●令和4年度の課題

- ・社会体育施設の老朽化に対して、市民が気持ちよく運動できるようスポーツ施設の営繕、改修を計画的に実施する。
- ・各施設の稼働率の向上のため、指定管理者と協議検討を行う。
- ・ランニングコースの周知・活用を推進する。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	①スポーツ施設の営繕、改修等の実施(光明池球技場テニスコート防球ネット設置、光明池緑地運動場事務所外壁及び屋上防水改修工事等)を実施し、利用者の利便性向上につながった。 ②指定管理者と協議のもと、親子サッカー教室、テニス教室、卓球教室などの自主事業を実施した。 ③ランニングコースを活用した、ランニング・ウォーキングイベント(オンライン)を実施し228人が参加した。
-----------------------	--

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
社会体育施設利用者の前年度比増加人数(目標値：1万人)	125,371 総数:462,921 (1253.7%)	△4,798 総数:458,123 (-48.0%)	D

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満(前年度より改善) D：達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

- ①社会体育施設の老朽化に対して、市民が気持ちよく運動できるようスポーツ施設の営繕、改修を計画的に実施する。
- ②指定管理者の変更に伴い、稼働率向上につながる新たな魅力作りについて指定管理者と協議検討する。
- ③ランニングイベントなどを活用し、引き続きランニングコースの周知・活用を推進する。

取組の成果における達成状況の要因は、温水プール故障時の一時閉館による利用者の減少、コミュニティ体育館利用者の減少となっている。今後、計画的に修繕するなど安定的な運用を行うとともに、令和6年度からの指定管理者と新たな魅力作りについて協議を行い、利用者数の増加を図る。

●評価委員からの主な意見

社会体育施設の老朽化の課題があるとのことだが、利用者への支障が少なくなるよう、見通しを持った計画的な修繕に努められたい。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	19	事業名	スポーツ活動の普及	担当課	生涯学習部生涯学習推進室スポーツ振興担当
--------	----	-----	-----------	-----	----------------------

予算額	32	百万円	決算額	29	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	スポーツを通じて地域の仲間たちと親交を深める	スポーツ活動の仕組みづくりに取り組みます	①各種イベントにおける参加者増加に向けた取組みの検討 ②学校開放(夜間照明)の実費負担について、費用対効果等を調査して継続検討 ③スポーツ振興奨励費を増額するとともに、優勝者にはさらに加算して奨励費を交付

●令和4年度の課題

- ・信太山クロスカントリー大会をはじめとする各種イベントにおける参加者増加が課題であり、周知方法等を検討する。
- ・スポーツ振興奨励費のあり方について、大会種別ごとの奨励額等について整理し、令和5年度から実施予定の奨励費の増額については、他市の動向や社会情勢を注視し、引き続き検討する。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

スポーツ交流による「人・地域」の親交の醸成	①信太山クロスカントリー大会では、出場権をふるさと納税の商品として周知し18人が出走した。他大会ではSNSを活用し参加者増加に向けた取組みを実施。 ②学校開放(夜間照明)の実費負担について、費用対効果等を調査して継続検討し、課題の洗い出しを行った。 ③スポーツ振興奨励費を増額し、優勝者にはさらに加算して奨励費を交付することで、申請件数がR4の147件からR5は233件と86件増加し、スポーツ振興につながった。
-----------------------	---

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
スポーツ事業参加者数対前年度比(目標値:1以上)	13.4 総数:1,882 (1340.0%)	1.49 総数:2,796 (149.0%)	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①信太山クロスカントリー大会のふるさと納税による出場権付与を継続的に実施し、認知度の向上を図る。 ②学校開放(夜間照明)の実費負担について、費用対効果等を調査して継続検討する。 ③スポーツ振興奨励費について、引き続き周知を図る。

●評価委員からの主な意見

学校開放(夜間照明)にかかる照明設備のLED化については、利用者の負担が少なくなるよう計画的に進められたい。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	20	事業名	文化芸術活動	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	--------	-----	--------------------

予算額	41	百万円	決算額	37	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	市民生活を心豊かで、潤いあるものとする	市民の創造性豊かな文化・芸術活動を支援します	①市民文化祭において、幅広い分野の参加者を受け入れるとともに、文化協会の協力を得て、市民が身近に文化を感じられるよう体験教室を開催 ②太鼓教室や太鼓体験教室の開催や活動支援によるいずみ太鼓の振興 ③文化芸術の振興発展・文化芸術活動の活性化を目的として文化協会と連携し、各種イベント開催時や学校・園等で様々な文化を体験できる機会を提供

●令和4年度の課題

・文化芸術の振興発展のため文化協会と連携し、今後も様々な機会を通じて市民が文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、文化協会と学校・幼稚園・保育所等との連携により、次代を担う子どもたちが様々な文化体験をできる機会を提供する必要がある。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	①令和5年10月1日(日)～12月10日(日)に市民文化祭を開催し、展示の部第1期～第3期は8,547人、演技の部は3,828人が来場され、身近な場所で文化・芸術に触れていただくことができた(R4:展示の部 第1期～第3期 6,820人、演技の部 3,104人)。また、文化協会の協力により成人教室(茶道・華道・琴)を開催し、茶道16人、華道16人、琴6人に参加いただいた(R4:茶道26人、華道11人、琴7人)。 ②太鼓教室や太鼓体験教室を開催し、日頃の練習の成果を披露する場として、令和5年12月2日(土)・3日(日)に2部制で「いずみの国太鼓クリエイション2023」を開催し、計1,093名が来場された。(R4:1,171人) ③令和5年11月3日(金・祝)の「ミュージックウェーブ」では、合唱部門、吹奏楽部門、金管バンド部門、フラメンコ部門において出演協力があったほか、令和5年11月19日(日)の「榎尾っ子まつり」では、書道部門と金管バンド部門による各体験イベントや中学校の楽器のメンテナンスを行うなど、多くの市民に文化・芸術にふれる機会を提供することができた。
-----------------------------	---

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
市民文化祭に参加している市民の延べ人数(目標値:10,500人)	9,924 (94.5%)	12,375 (117.9%)	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

③引き続き文化芸術の振興発展のため文化協会と連携し、今後も様々な機会を通じて市民が文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、文化協会と学校・幼稚園・保育所等との連携により、次代を担う子どもたちに対して様々な文化体験の機会を提供する必要がある。

●評価委員からの主な意見

市民が文化・芸術に触れる機会を作ることのみならず、子ども達に対しても、文化・芸術に触れさせることで興味を育み、芸術家を育てる事業なども検討されたい。
--

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	21	事業名	文化財の調査研究・保護継承	担当課	生涯学習部文化遺産活用課
--------	----	-----	---------------	-----	--------------

予算額	325	百万円	決算額	191	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の実施内容(3項目以内)
豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	地域の歴史資源や文化資源の保全に努めるとともに、これら資源に触れ合う機会を創出し、市民の誇りと郷土愛を育む	文化財の調査研究・保護継承に取り組みます	①郷土史読本の普及と活用 ②史跡池上曾根遺跡整備工事に着手 ③文書館のソフト(例規等)及びハード(設置場所・書庫)の具体化

●令和4年度の課題

- ・郷土史読本の普及と活用を図るため、刊行記念講演会を開催するほか、学校教育室や社会科部会と連携して、郷土史読本の授業での活用を進める。
- ・史跡池上曾根遺跡の再整備計画に基づき、利便施設や復元施設の設計を行うため、文化庁との協議を進める。
- ・文書館のソフト(例規等)及びハード(設置場所・書庫)の具体化を図るため、引き続き関係課と定期的な協議を行う。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	①郷土史読本刊行記念講演会開催し、200人の参加を得た。本の普及(売り上げ700冊)をすすめた。 ②補助金の削減により、事業計画を令和8年度のリニューアルオープンから令和8年度一部リニューアルオープン、令和11年度リニューアルフルオープンに見直した。令和8年の一部リニューアルに向けて工事に着手した。 ③庁議において、いずみの国歴史館に文書館機能を設置し、書庫を庁舎第一分館に確保することを決定した。また、歴史館条例を一部改正し、特定歴史公文書を取り扱うことを、歴史館の所管事業に位置付けた。
-----------------------------	--

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
第5次和泉市総合計画の目標管理の市民アンケート調査における「和泉市の歴史文化に誇りを持っている」と答えた市民の割合(目標値: 55.0%)	51.1 (92.9%)	51.3 (93.3%)	A

※達成度の凡例 S: 目標達成 A: 達成率90%以上 B: 達成率80%以上 C: 達成率80%未満(前年度より改善) D: 達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①郷土史読本の増刷とさらなる活用 ②史跡池上曽根遺跡整備工事の推進 ③「文書館」機能開設にむけた準備(歴史公文書の評価選別と関連規則の整備、まなびのプラザの改修等)
※予算額と決算額の差異(134百万円)の理由 ・文化庁補助金がカットされたため、史跡池上曽根遺跡整備工事の内容を見直したことから、不用額が発生した。

●評価委員からの主な意見

郷土史読本を活用し、市民によりPRすることで、「和泉市の歴史文化に誇りを持っている」と答えた市民の割合の数値向上に取り組まれない。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	22	事業名	文化財の活用	担当課	生涯学習部文化遺産活用課
--------	----	-----	--------	-----	--------------

予算額	40	百万円	決算額	36	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度主な取組内容(3項目以内)
豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	地域の歴史資源や文化資源の保全に努めるとともに、これら資源に触れ合う機会を創出し、市民の誇りと郷土愛を育む	史跡公園や歴史館など歴史学習の場の提供・活用に取り組みます	①池上曾根史跡公園のリニューアルオープンに向け活用手法を検討 ②和泉・信太の森ヒストリータウン事業として、文楽劇場と連携し、信太の森ふるさと館及び、いずみの国歴史館において「文楽にみる葛の葉伝説」展を開催 ③歴史講座(和泉史塾や寺子屋池上曾根)やウォークイベントなどを開催

●令和4年度の課題

- ・令和8年度の一部リニューアルオープンに向け、池上曾根遺跡の活用手法の検討を進める。
- ・信太の森ふるさと館及びいずみの国歴史館において、文楽協会の協力もと「葛の葉展」を開催し、ヒストリータウンのPRにつなげる。
- ・新型コロナウイルスの状況も見据えつつ、歴史講座やウォークイベントなどを実施し、文化財を活かした地域活性化を図る。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	①先進事例の調査、関連企業からのサウンディングを実施 ②文楽劇場と連携し、「文楽にみる葛の葉伝説」展を開催（ふるさと館753人、歴史館1,475人来場） ③葛の葉伝説にちなんだ文化遺産フォーラム（1部40人、2部120人参加）、郷土史読本をよむ和泉史塾（218人参加）などを開催
-----------------------------	---

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
文化遺産施設の入園者・入館者数(歴史館、池上曽根史跡公園、ふるさと館)(目標値：115,000人)	130,488 (113.5%)	72,788 (63.3%)	D
文化財関係イベント(和泉史塾、寺子屋池上曽根など)の参加者数(目標値：500人)	526 (105.2%)	580 (116.0%)	S
和泉市文化財TVおよびHPのPV数の増加(目標値：60,000回)	84,858 (141.4%)	54,817 (91.4%)	A

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①池上曽根史跡公園に関して、引き続き、先進事例の視察やサウンディングを実施 ②ヒストリータウン事業として、史跡池上曽根遺跡発掘調査成果等に係る文化遺産フォーラム（動画配信）を実施 ③ウォークイベントや歴史講座などタイムリーな企画を実施 ・取組の成果（文化遺産施設の入園者・入館者数）について、令和4年度は池上イベントマラソンの実施により池上曽根史跡公園入園者が大幅に増加したが、令和5年度は例年並みの入園者数となった。令和4年度の実績を好事例として、さらなる入園者増加をめざした取組の検討を行う。 ・取組の成果（和泉市文化財TVおよびHPのPV数の増加）について、令和4年度は、「地車修理事業」の動画再生回数が突出して多かったことで、目標値を大きく上回る結果となった。今後も多くの方の興味を引く動画作成について、テーマや内容の検討に取り組む。

●評価委員からの主な意見

和泉市文化財TVおよびHPのPV数の増加については、インフルエンサーの起用など、様々な方策を検討されたい。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	23	事業名	美術館の運営	担当課	生涯学習部久保惣記念美術館
--------	----	-----	--------	-----	---------------

予算額	275	百万円	決算額	237	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	地域の歴史資源や文化資源の保全に努めるとともに、これら資源に触れ合う機会を創出し、市民の誇りと郷土愛を育む	久保惣記念美術館の施設や所蔵品を活かし美術に触れ合う機会・活動の場の創出に取り組みます	①特別展をはじめ、3回の展覧会を開催、音楽ホールでのコンサートや講演会 ②茶室の耐震補強工事 ③和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムによるミュージアムタウン事業の推進

●令和4年度の課題

・施設の老朽化が顕著で、想定外の不具合発生が増えてきており、緊急修繕が増えている。今後、50周年に向けて運営ビジョンを策定し、それに基づいて、施設改修の計画を立てる予定である。また庁内の関係課で運営ビジョンの策定準備会議を立ち上げ、美術館の存在意義や使命について共有を図る。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

豊かな創造性と郷土愛を育む 「文化・芸術」の振興	①特別展「宗達」では7,225人の入場者があり、展覧会図録販売数が500冊を超え、完売するほどの好評だった。その他展覧会を2回開催し、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、入館者数は少しずつ回復している。また、ホールではコンサートや学芸員によるスライドレクチャーなどを52回開催した。 ②3か年事業の2年目として、正門の解体と基礎工事、茶室屋根裏や押入部への耐震補強等を実施した。 ③ミュージアムタウンコンソーシアムにより、昨年度に引き続きアートコンクールを開催したほか、美術館や桃山学院大学、エコー・和泉にて各種ワークショップを行い、合計797人に参加いただくことができた。 (R5来場者実績3,234人(内訳) コンソーシアムイベント：797人 古民家イベント：2,437人)
-----------------------------	---

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
展覧会(特別陳列・常設展・特別展 各1回)の入館者数(目標値：(R4)14,000人、(R5)22,000人)	12,533 (89.5%)	14,695 (66.8%)	C
ミュージアムタウン交流拠点への来場者数(目標値：(R4)1,790人、(R5)3,080人)	2,545 (142.2%)	3,234 (105.0%)	S

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満(前年度より改善) D：達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①新型コロナウイルス感染症の5類移行後、入館手続きやコンサートにおける人数制限等を緩和し、入館者数は回復基調にあるものの、あらためて来場者の増加につなげる事業が必要。 ①2025大阪・関西万博によるインバウンドを含んだ大阪への来訪者を呼び込む事業に取り組む。

●評価委員からの主な意見

施設の修繕については、見通しをもって計画的に行われたい。 入館者数増加については、市のブランディングに結びつけ、他部署と連携して取り組まれない。
--

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	24	事業名	青少年の健全育成	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	----------	-----	--------------------

予算額	6	百万円	決算額	4	百万円
-----	---	-----	-----	---	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の実施内容(3項目以内)
将来を担う青少年の育成	健やかな青少年の育成	社会環境が及ぼす青少年への影響配慮や地域による見守りなどに取り組みます	①こども会育成連絡協議会の活動支援 ②非行防止などの啓発、意識高揚をめざした「青少年を非行から守る」市民大会を開催するとともに、周知方法を見直し、より効率的で効果的な広報活動を実施 ③こども110番事業の実施

●令和4年度の課題

・青少年の健全育成の機運を高めるため、「青少年を非行から守る」市民大会の参加者増加に向けて、大会内容の見直しや効果的な広報活動を実施する必要がある。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

将来を担う青少年の育成	①こども会の自主的な活動を促すため補助金を交付し、相撲大会やドッチビー、オセロ大会の開催による地域に根ざした子どもの健全育成を支援することができた。 ②令和5年7月8日(土)、第41回「青少年を非行から守る」市民大会の一環として「最近の少年非行の動向」をテーマにした講演会を開催した。105人が参加し、青少年の健全育成に対する一層の意識の高揚を図ることができた(R4:100人)。 ③地域の子どもは地域で守り、子どもが安心して暮らせる環境を確保することを目的として、協力世帯に「こども110番」の旗を掲げていただくため、広報いずみやホームページで新規協力世帯を募集するとともに、損傷の激しい旗を随時入れ替えた。令和5年度は109件の新規協力世帯の登録があり、古くなった466本の旗を入れ替えることができた。
-------------	--

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
青少年を非行から守る市民大会参加者数(目標値:120人)	100 (83.3%)	105 (87.5%)	B

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

②青少年の健全育成の機運を高めるため、「青少年を非行から守る」市民大会を開催しているが、参加人数などの現状を踏まえ、青少年の非行や犯罪被害防止にかかる周知啓発の手法について、調査研究が必要である。

●評価委員からの主な意見

青少年を取り巻く環境が変わってきている点に危機感を持ち、他部署、他機関との連携も踏まえた取組みを検討されたい。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	25	事業名	放課後等の児童の健全育成	担当課	教育・こども部こども未来室幼保育成担当
--------	----	-----	--------------	-----	---------------------

予算額	502	百万円	決算額	458	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
将来を担う青少年の育成	健やかな青少年の育成	安全・安心して過ごせる児童の放課後活動の場の提供や次世代育成の観点による放課後活動対策に取り組みます	①留守家庭児童会支援員の資質向上のための研修を継続 ②留守家庭児童会において必要な教室数及び支援員確保 ③放課後子ども教室の全ての小学校区での実施を継続、実行委員会形式で実施できる校区の増加

●令和4年度の課題

- ・支援員の人員確保の一方で、子ども達が安心して安全に過ごせる環境を整え、きめ細やかに適切な保育が行えるよう、支援員の資質向上のための研修を継続する必要がある。
- ・入会児童数の増加が続く留守家庭児童会において、適正数のクラス設置のため、空き教室の確保又は施設整備が必要である。
- ・児童が安全に安心して過ごせる地域の受け皿として放課後子ども教室を開催できるよう、地域の実行委員会に対し、実施マニュアルや取組み事例の情報提供・共有を行い、学校とも連携しながら取り組む必要がある。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

将来を担う青少年の育成	①市主催の支援員・補助員研修を毎月1回開催し「支援の必要な子どもの対応」「子どもが喜ぶゲーム指導」等を学んで保育に必要な能力・知識の向上を図った。また、大学教授が講師となる等、より専門的な内容を学ぶことができる大阪府主催の研修会にもWEBで参加した。 ②留守家庭児童会について、学校児童推計を基に算出した留守家庭児童会入会児童数推計に基づき適切なクラス数の設定ができたことにより、待機児童が発生することなく運営することができた。また、支援員確保のため、夏休み期間に民間事業者からの人材派遣を導入し、現場から子ども達とよく遊んでくれると好評であった。 ③放課後子ども教室は、実行委員会で実施する校区の新規参加の調整を行ったが実施には至らなかった。
-------------	---

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
留守家庭児童会の待機児童数(目標値:0名)	0 (100.0%)	0 (100.0%)	S

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①支援員の人員確保と人材の資質向上等の課題に対応するため、民間委託等の手法を検討する必要がある。

②入会児童数の増加が続く留守家庭児童会において、適正数のクラス設置のため、空き教室の確保又は施設整備が必要である。

③放課後子ども教室を開催できるよう、地域の実行委員会に対し、実施マニュアルや取組み事例、民間企業プログラムの情報提供・共有を行い、学校とも連携しながら取り組む必要がある。

●評価委員からの主な意見

市主催の研修の実施や大阪府主催の研修への参加により、保育の質の向上に努められたい。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	26	事業名	青少年センター活動	担当課	生涯学習部生涯学習推進室青少年センター
--------	----	-----	-----------	-----	---------------------

予算額	37	百万円	決算額	35	百万円
-----	----	-----	-----	----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度主な取組内容(3項目以内)
将来を担う青少年の育成	健やかな青少年の育成	子ども同士の交流ができる活動の場の提供に取り組みます	①ユースゼネレーション(小中学生対象の講習講座や野外活動等)の開催 ②どろんこ子ども会を平日放課後、学校長期休業中に開設(土日祝等除く) ③(仮称)多世代交流拠点施設における青少年健全育成機能の検討

●令和4年度の課題

・今後も継続してアンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握に努めるとともに、青少年の健全育成や子どもの居場所づくり等を踏まえた個別事業の見直しに取り組んでいく必要がある。また、(仮称)多世代交流拠点施設基本計画に基づき、当該拠点施設における青少年健全育成機能について、関係課とともに検討を進めていく。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

将来を担う青少年の育成	①ユースゼネレーションは、定員(1,096人(令和4年度：890人))を上回る応募があり利用者ニーズに配慮した講習講座を実施することで、青少年の体験や交流の場を提供することができた。(延べ参加者数927人(令和4年度実績：771人)) ②どろんこ子ども会では、学校の放課後や長期休みにおける安全、安心な居場所を提供することで、集団活動や遊びを通じて子どもたちの交流を図ることができた。(延べ参加者数7,724人(令和4年度実績：7,193人)) ③(仮称)多世代交流拠点施設で実施する事業に必要な諸室及び設備等について、関係課及びコンサルタント業者と協議・調整を行い、要求水準書(都市政策室作成)の公表に至った。ソフト事業については、人権文化センターと今後も引続き調整していく。
-------------	--

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
青少年センターで実施する各種講習講座(ユースゼネレーション、ふれあいサタデー等)の参加率(目標値：100%)	94.4 (94.4%)	86.6 (86.6%)	B

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満(前年度より改善) D：達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①各講習講座については、引続きアンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握に努めるとともに、青少年の健全育成や子どもの居場所づくり等を踏まえた個別事業の見直しに取り組んでいく必要がある。 ③(仮称)多世代交流拠点施設基本計画等に基づき、当該拠点施設における青少年健全育成機能について、関係課とともに検討を進めていく。

●評価委員からの主な意見

コロナ禍を教訓として柔軟に対応できるよう、ニーズの変化等を捉えた取組をされたい。 講座内容だけでなく運営面についてのニーズも把握し、改善について検討されたい。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	27	事業名	図書館の運営	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	--------	-----	--------------------

予算額	347	百万円	決算額	344	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の実施内容(3項目以内)
生涯における読書振興	生涯を通じた学習の一翼を担う読書の振興	図書の提供だけでなく調査・探究を手助けする情報拠点として、図書館の管理・運営に取り組みます	①2館2室の指定管理者による管理運営 ②電子図書館の周知拡大 ③公共施設を活用した自習室の拡充

●令和4年度の課題

・令和4年度に、市内図書館及び自習室へのWi-Fi環境整備や自習室の増設、自習室予約システムの改修を行ったものの、市民への周知が十分にできていないため、今後の課題として、いずみメールやデジタルサイネージの活用など積極的な広報周知を行い、自習室の利用率の向上を図る必要がある。

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

生涯における読書振興	①指定管理者が持つノウハウを生かし、図書館事業の充実に努めた。また、講演会やワークショップ開催により、読書の振興を図るとともに、利用者数も昨年度に比べ19,329人増加し、図書館の利用促進を図ることができた。 ②電子図書館の周知拡大を図るため、今年度、出前講座メニューに「電子図書館の使い方」を追加した。また、指定管理者の自主事業として、市内小学校へ出向いての講座を実施したほか、各館において、電子図書体験会を実施し周知を図った。 ③ホームページ、いずみメール、デジタルサイネージを活用し、市内自習室の周知を図り、利用率の向上に努めた。
------------	---

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
市立図書館入館者数(目標数値：869,000名)	640,069 (73.7%)	659,398 (75.9%)	C

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

③自習室の利用率の向上に向け、予約システムの改修やWi-Fiの設置などの整備を進めてきたが、さらなる利用率の向上に向け、広報活動の強化を行う必要がある。
--

●評価委員からの主な意見

自習室の利用状況につき、年代、利用目的別の利用率の変化を把握し、利用促進に向けた取組改善に努められたい。
--

Ⅳ 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	28	事業名	子どもの読書推進	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	----------	-----	--------------------

予算額	0.6	百万円	決算額	0.4	百万円
-----	-----	-----	-----	-----	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和4年度の主な取組内容(3項目以内)
生涯における読書振興	生涯を通じた学習の一翼を担う読書の振興	子どもたちが読書を通じ生きる力を育めるよう、子どもの頃から読書に親しめる環境づくりに取り組みます	①和泉市子どもの読書活動推進協議会の開催 ②図書館を使った調べる学習コンクール・小学生読書おたよりコンクール・中学生POPコンクールの継続 ③市内小学校新1年生への図書館カード配付

●令和4年度の課題

・こどもの読書習慣の形成・読書活動の推進に取り組んでいくためには、関係部局が連携し、将来的には学校図書館と市立図書館のシステムを連携させることを含め、共同で取り組んでいく必要がある。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

生涯における読書振興	①令和6年2月21日に和泉市子どもの読書活動推進協議会を開催し、活発な意見交換や事業提案がなされた。 ②「図書館を使った調べる学習コンクール」は60点の応募があり、全国コンクールに進んだ受賞作品のうち2作品が佳作を受賞した。小学生読書おたよりコンクールは低学年の部に118点、高学年の部に227点、中学生POPコンクールには168点の応募があり、コンクールを通じた読書啓発を行うことができた。 ③こどもの図書館利用や電子図書利用を促すため、令和5年度は、市内小学新1年生を対象として、図書館カード未所持者827名に図書館カードを配布することができた。(R4:899人)
------------	---

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
こども1名当たりの市立図書館貸出冊数(目標数値:10冊)	9.5 (95.0%)	8.1 (81.0%)	B

※達成度の凡例 S:目標達成 A:達成率90%以上 B:達成率80%以上 C:達成率80%未満(前年度より改善) D:達成率80%未満(前年度より悪化)

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

今後開校予定の小中一貫校における学校図書館の電算化だけでなく、学校図書館と市立図書館の統一システムの導入に向けて関係部局との連携が必要である。

●評価委員からの主な意見

こどもの電子図書利用促進にあたっては、電子図書の貸出冊数のデータを活用し、取組の効果を検証されたい。
--

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

取組項目番号	29	事業名	国際交流	担当課	生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当
--------	----	-----	------	-----	--------------------

予算額	12	百万円	決算額	7	百万円
-----	----	-----	-----	---	-----

※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を「●課題と改善策」の欄に記載

基本方向	目標	取組方針	令和5年度の主な取組内容(3項目以内)
国際交流の推進	多様な価値観を学び認め合う国際交流の推進	国籍や文化の違いを超えて、互いを尊重し、ともに活躍できるグローバル人材育成のため、国際交流の推進に取り組みます	①姉妹都市である米国・ブルーミントン市との交換学生相互派遣事業において、交換学生を派遣 ②姉妹都市である米国・ブルーミントン市とのマラソンランナー相互派遣事業において、ランナーを派遣(受入れはなし) ③和泉市民と外国人市民の交流及び理解を深めるため、国際交流フェアを開催

●令和4年度の課題

・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症流行以来中止していた交換学生・マラソンランナー相互派遣の再開を予定している。交換学生として中学生6人を公募選考し、ブルーミントン市に派遣することにより、国際感覚を養い市の国際交流の担い手になっていただくとともに、派遣学生のみならず市内中学生の国際交流や万博への関心、英語学習意欲を高める必要がある。

IV 点検・評価報告書(令和5年度事業)

●令和5年度の事業評価

国際交流の推進	①市の国際交流の担い手となることを目的に、交換学生として派遣する市内中学生6人を応募者75人の中から選考。計5回の事前研修を行ったのち、令和5年8月11日～令和5年8月21日までの11日間米国・ブルーミントン市へ派遣した。また、帰国後は、交換学生による報告集の作成や派遣事業報告会での発表などを行った。 ②スポーツを通じた国際交流を行い、両市の友好親善を深めると共に、国際感覚豊かな人材を育成することを目的に、米国・ミネソタ州（ミネアポリス市/セントポール市）で開催されるツインシティマラソンへ派遣するランナー2人を公募により応募者18人の中から選考。令和5年9月28日～令和5年10月4日までの7日間派遣した。 ③令和5年11月26日(日)に世界の食文化、世界のフレグランス、世界の音楽などを体験できる「いずみ国際交流フェア」を開催し、商工会議所やテクノステージまちづくり協議会の広報協力を得たことで、市内で働く外国人や一般市民併せて、約700人の来場者があり、和泉市民と外国人市民との交流を図った。
---------	--

●取組の成果

達成目標	令和4年度 ()は達成率	令和5年度 ()は達成率	達成度
「日本と世界の子どもの作品展」市内出展作品数(目標数値：70点)	59 (84.3%)	60 (85.7%)	B

※達成度の凡例 S：目標達成 A：達成率90%以上 B：達成率80%以上 C：達成率80%未満（前年度より改善） D：達成率80%未満（前年度より悪化）

●課題と改善策 ※予算額と決算額の差が50百万円以上または予算の執行率が50%以下の場合、その理由を記載

①米国・ブルーミントン市との交換学生相互派遣事業において、5年ぶりに交換学生の受入れを行うが、市内小中学生の英語学習意欲を高めるための交流内容について検討が必要である。 ③いずみ国際交流フェアを実施するにあたり、イベントを実施するだけでなく、和泉市民との交流を図るため、外国人市民の参加を促す周知方法の工夫が必要である。 目標である「日本と世界の子どもの作品展」市内出展作品数の増加に向け、作品の出展につき、大阪・関西万博の機運醸成も含め、募集する取り組みを行えるよう企画の検討を行う。
--

●評価委員からの主な意見

ブルーミントン市への派遣事業につき、派遣後においても市の国際交流行事への協力や学校で経験談の講演を行うなど、今後派遣を希望する子ども達の進路の参考になるような取組みに繋がりたい。
--

V 参考資料

1. 教育委員会の活動状況

●教育委員会委員（令和6年4月1日現在）

	氏名	就任～任期	令和5年4月1日時点
教育長	大槻 亮志	令和6年4月1日～ 令和9年3月31日	小川 秀幸
委員 (職務代理)	深堀 知子	令和6年2月26日～ 令和10年2月25日	深堀 知子
委員	西家 章弘	令和2年11月9日～ 令和6年11月8日	西家 章弘
委員	久米 ひろみ	令和2年11月9日～ 令和6年11月8日	久米 ひろみ
委員	中西 正人	令和4年3月18日～ 令和8年3月17日	中西 正人
委員	小谷 美樹	令和4年12月22日～ 令和8年12月21日	小谷 美樹

●教育委員会会議

教育委員会会議は、毎月1回の定例会と、必要に応じて臨時会を開催しています。

会議では、市議会に提案する議案のほか、学校教育や社会教育の一般方針や教育内容の方針、教科用図書の採択、社会教育委員等の委員の任命などについて、審議、意見交換を行うこととしています。

令和5年度の会議開催状況

定例会 12回

臨時会 2回

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和5年 4月20日	定例会	議案 ・なし 報告 ・(仮称)富秋学園整備事業 設計施工者選定公募型プロポーザルの実施について ・令和5年度和泉市豊かな心をはぐくむ授業公開について ・令和5年度いずみ希望塾の申込状況及び受講者数等について
令和5年 5月25日	定例会	議案 ・補正予算について ・和泉市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・和泉市教育委員会事業者選定委員会規則の一部を改正する規則制定について ・令和6年度使用和泉市立中学校及び義務教育学校後期課程教科用図書の採択について ・令和6年度使用和泉市立小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書に関する諮問について ・令和5年度和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員の委嘱及び任命について 報告 ・和泉市立青少年の家のリニューアルについて ・史跡池上曽根遺跡整備事業実施計画の変更について
令和5年 6月22日	定例会	議案 ・和泉市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則制定について ・和泉市子どもの夢応援奨学金基金条例施行規則の一部を改正する規則制定について

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和5年 6月22日	定例会	承認 ・演習場内事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について 報告 ・和泉市立中学校35人以下の少人数学級推進事業実施要綱について ・令和6年度和泉市教育委員会任期付市費負担教育職員の採用候補者登録試験募集要項について ・令和5年度和泉市子どもの夢応援奨学金について ・令和5年度 第22回 子ども議会について ・富秋中学校区等まちづくり構想の事業化に係る事業手法の見直しについて ・信太貝吹山古墳フェンス設置事業に関する緑越明許費について
令和5年 7月20日	定例会	議案 ・和泉市社会教育委員の委嘱について 報告 ・和泉市立中学校35人以下の少人数学級推進事業実施要綱の修正について ・令和6年度和泉市教育委員会任期付市費負担教育職員の採用試験募集要項の修正について
令和5年 7月27日	臨時会	・令和6年度使用和泉市立小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書の採択について
令和5年 8月24日	定例会	議案 ・補正予算について ・財産取得について ・和泉市立青少年の家における施設活性化・改修計画策定について ・令和5年度和泉市教育委員会の点検・評価報告書について ・事務局職員の処分について

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和5年 8月24日	定例会	報告 ・令和5年度和泉市小・中学生科学展について ・地方創生推進交付金事業の事業評価について
令和5年 9月21日	定例会	議案 ・なし 報告 ・（仮称）槇尾学園進捗状況について ・令和6年度和泉市立南横山小学校小規模特認校児童募集について ・米国ブルーミントン市への和泉市長公式訪問団及び和泉市交換留学生代表団の派遣報告について ・和泉市スポーツ競技に関する懸垂幕掲出要綱の制定について ・教育委員会事務局としての取組みについて
令和5年 10月12日	定例会	議案 ・なし 報告 ・和泉市生涯学習推進委員会委員の委嘱について ・和泉市文化財保護審議会委員の委嘱について ・いずみの国歴史館への「文書館」機能設置について
令和5年 11月9日	定例会	議案 ・公の施設の指定管理者の指定について（和泉市コミュニティセンター） ・公の施設の指定管理者の指定について（和泉市温水プール） ・補正予算について ・（仮称）和泉市立富秋学園整備事業請負契約の締結について ・（仮称）和泉市立槇尾学園整備事業請負契約の変更について

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和5年 11月9日	定例会	議案 ・和泉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・和泉市教育委員会事業者選定委員会規則の一部を改正する規則制定について ・令和6年度和泉市立学校教職員人事基本方針について 報告 ・和泉市立南松尾はつが野学園増築工事請負契約の変更について ・学校敷地内事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について ・公立保育園における「おもつサブスク」の導入について ・（仮称）多世代交流拠点施設整備事業補正予算について ・いずみの国歴史館への「文書館」機能設置について ・和泉市指定文化財の指定の諮問について
令和5年 12月21日	定例会	議案 ・和泉市任期付市費負担教育職員の給与等の特例に関する条例施行規則の制定について 承認 ・令和5年和泉市議会第4回定例会における補正予算について 報告 ・和泉市立学校における働き方改革の取組指針（案）について ・医療的ケア機能を備えた認定こども園の運営事業者決定について

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和6年 1月18日	定例会	議案 ・なし 承認 ・職員の処分について 報告 ・令和6年度いずみ希望塾の募集について ・令和6年度全国学力・学習状況調査について ・和泉市総合スポーツセンターに係るネーミングライツ・パートナー優先交渉権者の決定について
令和6年 2月1日	定例会	議案 ・令和6年度当初予算（教育委員会関連）について ・公の施設の指定管理者の指定について（和泉市内体育施設） ・補正予算について ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について ・和泉市任期付市費負担教育職員の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について ・和泉市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定について ・和泉市いずみの国歴史館条例の一部を改正する条例制定について ・財産取得について ・和泉市立小学校・中学校・義務教育学校の教職員管理職人事について 報告 ・「和泉市学校給食における食物アレルギー対応の手引き」の改訂について

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和6年 2月29日	臨時会	議案 ・和泉市スポーツ推進審議会委員の委嘱について ・和泉市立小学校・中学校・義務教育学校の教職員一般人事について 承認 ・令和6年和泉市議会第1回定例会における条例改正について ・令和6年和泉市議会第1回定例会における財産取得について 報告 ・工事請負変更契約の締結について（和泉市久保惣記念美術館茶室耐震化工事（1期））
令和6年 3月28日	定例会	議案 ・和泉市教育委員会評価委員会委員の委嘱について ・和泉市スポーツ推進委員の委嘱について ・和泉市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則制定について ・和泉市教育委員会事務局専決規程の一部を改正する規則制定について ・和泉市教育委員会事業者選定委員会規則の一部を改正する規則制定について ・和泉市任期付市費負担教育職員の給与等の特例に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・和泉市留守家庭児童会条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・和泉市子どもの読書活動推進協議会規則の一部を改正する規則制定について ・部活動地域移行計画策定委員会規則の制定について ・和泉市文書管理委員会規則の制定について

開催日	区分	審議議案・主な報告事項
令和6年 3月28日	定例会	議案 ・和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン策定委員会規則の制定について ・令和6年度学校に対する指示事項について ・令和6年度幼稚園に対する指示事項、保育所に対する指導・助言事項について 報告 ・和泉市スポーツ推進アドバイザー要綱の制定について ・和泉市指定文化財の指定について ・令和6年度和泉市教育委員会の点検・評価報告書（令和5年度事業分）（素案）について ・和泉市教育振興基本計画（令和6年度行動計画編）について ・「大阪府公立学校長（任期付）」の令和7年度任用に係る意向調査について

●総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4の規定に基づき、市長と教育委員会（教育長及び教育委員会委員）で構成される会議です。

教育に関する予算の編成・執行や条例提案など重要な権限を有している市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るものです。

総合教育会議では、教育に関する「大綱」の策定、教育の条件整備など重点的に構すべき施策、児童生徒等の生命・身体 の保護等緊急の場合に構すべき措置について、協議・調整を行います。

令和5年度第1回総合教育会議

令和5年6月1日（木）開催

議題 ・教育と福祉の連携について

・本市における生徒指導上の課題への対応について

令和5年度第2回総合教育会議

令和5年7月20日（木）開催

議題 ・教育と福祉の連携について

令和5年度第3回総合教育会議

令和5年11月16日（木）開催

議題 ・教育と福祉の連携について

令和5年度第4回総合教育会議

令和5年12月21日（木）開催

議題 ・本市における生徒指導上の課題への対応について

令和5年度第5回総合教育会議

令和6年2月29日（木）開催

議題 ・本市における生徒指導上の課題への対応について

2. 和泉市教育委員会評価委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、和泉市附属機関に関する条例（昭和32年和泉市条例第43号）第2条の規定に基づき、和泉市教育委員会評価委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第2条 委員会は、和泉市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の求めに応じ、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うに当たり意見を述べるものとする。

(組織)

第3条 委員会は、委員3人以内で組織する。

2 委員は、教育に関する学識経験者から教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、教育委員会が委嘱した日から同日の属する年度の翌年度の末日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

(委員会の招集、議事の特例)

第7条 委員長は、災害その他の理由により委員会を招集することができない場合においては、前条の規定にかかわらず、書面その他の方法により委員の意見を聴取することができる。

(関係者の出席)

第8条 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、評価委員会を担当する部署において処理する。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(招集の特例)

2 施行日又は委員の任期満了日の後最初に行われる会議の招集は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育委員会が行う。

附 則(平成27年教委規則第12号)

この規則は、公布の日から施行し、改正後の和泉市教育委員会評価委員会規則は、平成27年4月1日から適用する。

附 則(令和2年教委規則第27号)

この規則は、公布の日から施行する。